

大修館書店『新編 現代の国語』[現国707] 真和志高校・シラバス

科目	単位数	指導学年	使用教科書
現代の国語	2単位(70時間)	第1学年	大修館書店『新編 現代の国語』

学習の到達目標	<p>1. 国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高める。</p> <p>2. 思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにする。</p> <p>3. 言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深める。</p> <p>4. 国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。</p>
---------	---

学期	月	教科書単元名／教材名	学習指導要領との対応	学習の目標	評価規準例	評価方法等	
		1 ことばをひらく	ことばの学びに向けて「変わる」ことを楽しもう	【知・技】 (2)ア 【思・判・表】 C(1)ア	・「変わる」ことについて筆者の考えを読み取り、高校生活を始めるにあたっての参考にする。 ・これからの学習で取り組みたいこと、興味のあることについて、自分の考えを見つめたり話し合ったりする。	【知識・技能】 ・主張と根拠などの関係について理解している。〔2)ア〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握している。〔C(1)ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・筆者の主張をふまえて、「現代の国語」の学習に前向きに取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
			ことばの学びに向けてコミュニケーションは技術だ	【知・技】 (2)ア 【思・判・表】 C(1)ア	・筆者のコミュニケーションに対する考え方を読み取る。 ・コミュニケーションを上達させていくことに興味をもつ。	【知識・技能】 ・主張と根拠などの関係について理解している。〔2)ア〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握している。〔C(1)ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・筆者の主張をふまえて、コミュニケーションに前向きに取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
			ことばの準備体操	【知・技】 (1)ア・イ・ウ・エ	・発音や聞き方に注意して話したり聞いたりする。 ・読みやすくわかりやすい字で正確に書く。 ・声量や速さ、間、強弱を工夫して音読する。	【知識・技能】 ・言葉の大切さを意識し、よりよい言葉の使い方を工夫しながら「話す」「聞く」「書く」「読む」活動に取り組んでいる。〔1)ア〕 ・話し言葉と書き言葉の特徴を意識し、はっきりした発音、適切な聞く姿勢、読み手にとってわかりやすい字形、音読の工夫に注意しながら活動に取り組んでいる。〔1)イ、ウ、エ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「話す」「聞く」「書く」「読む」それぞれの活動に対して意欲をもっている。	・観察 ・作品（視写） ・ワークシート（相互評
		2 日本語を使いこなす	ことばの使い分け	【知・技】 (1)イ 【思・判・表】 A(1)ウ B(1)ウ	・場面や目的に応じて適切な言葉を選ぶ。 ・敬語の正しい使い方や類義語のニュアンスの違いを理解し、適切に使い分ける。	【知識・技能】 ・場面や目的に応じた適切な言葉、敬語の正しい使い方、類義語のニュアンスについて正しく理解している。〔1)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「話すこと・聞くこと」において、話し言葉の特徴をふまえ、場面に応じた適切な言葉や表現を工夫している。〔A(1)ウ〕 ・「書くこと」において、場面や目的に応じた適切な言葉を選び、表現のしかたを工夫している。〔B(1)ウ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・言葉を正しく使い分けることに意欲をもち、言葉を意識して、自らの言語生活を豊かにしようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
			正しく書こう	【知・技】 (1)イ 【思・判・表】 B(1)ウ	・正しく適切な表記について理解する。 ・表記や係り受けに注意して、正確で整った文を書く。 ・原稿用紙の使い方を覚える。	【知識・技能】 ・書き言葉の特徴や役割、表現の特色をふまえ、正確さ、わかりやすさ、適切さなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解して使っている。〔1)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、自分の考えやことがらが的確に伝わるように、文章の種類や語句などの表現を工夫している。〔B(1)ウ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・正しく適切な表記で書くことを意識し、意欲的に学習に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート
			文を整え、文をつなぐ	【知・技】 (1)イ・オ 【思・判・表】 B(1)ウ	・あいまいな文や長くてわかりにくい文を避け、簡潔でわかりやすい文を書く。 ・接続表現を使いこなす、論理的でわかりやすい文章を書く。	【知識・技能】 ・書き言葉の特徴や役割、表現の特色をふまえ、正確さ、わかりやすさ、適切さなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解して使っている。〔1)イ〕 ・文の適切かつ効果的な接続のしかたを理解している。〔1)オ〕 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、自分の考えやことがらが的確に伝わるように、文章の種類や語句などの表現を工夫している。〔B(1)ウ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・文を整えたり接続表現を適切に用いたりすることに、意欲的に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・自己評価
			伝わるように話そう	【知・技】 (1)イ・オ 【思・判・表】 A(1)イ	・相手に伝えたいことを、わかりやすく整理して話す。	【知識・技能】 ・話し言葉の特徴や役割、表現の特色をふまえ、正確さ、わかりやすさ、適切さなどに配慮した表現について理解して使っている。〔1)イ〕 ・話の効果的な組み立て方について理解している。〔1)オ〕 【思考・判断・表現】 ・「話すこと、聞くこと」において、自分の考えが的確に伝わるように、話の構成や展開を工夫している。〔A(1)イ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・伝わりやすい話し方について意識し、意欲的に学習に取り組もうとしている。	・観察 ・発表 ・ワークシート ・自己評価

学期	月	教科書単元名／教材名	学習指導要領との対応	学習の目標	評価規準例	評価方法等	
		3 わかりやすく説明する	説明のしかたをとらえよう 人間はゴリラとチンパンジーのどちらに近いか	【知・技】 (1)オ (2)イ 【思・判・表】 C(1)ア	・説明のしかたに注意して文章を読む。 ・順序を表す言葉や接続表現、問題提起と答えに着目して、文章の構成をつかむ。	【知識・技能】 ・文、文章の効果的な組み立て方や接続のしかたについて理解している。〔(1)オ〕 ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。〔(2)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握している。〔C(1)ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に学習に取り組み、説明のしかたをとらえようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
			説明のしかたをとらえよう ナンバーワンか、オンリーワンか	【知・技】 (1)オ (2)イ 【思・判・表】 C(1)ア	・接続表現に気をつけて読み、説明のしかたをとらえる。 ・問題提起とその答えを意識し、文章全体の構成をつかむ。	【知識・技能】 ・文、文章の効果的な組み立て方や接続のしかたについて理解している。〔(1)オ〕 ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。〔(2)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握している。〔C(1)ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に学習に取り組み、説明のしかたをとらえようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
			説明のしかたをとらえよう 生きることと食べることの意味	【知・技】 (1)オ (2)イ 【思・判・表】 C(1)ア	・説明のしかたを考えながら読む。 ・文章全体の構成や接続表現の役割をとらえる。	【知識・技能】 ・文、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。〔(1)オ〕 ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。〔(2)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握している。〔C(1)ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に学習に取り組み、説明のしかたをとらえようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
			絵や写真を説明しよう	【知・技】 (1)イ・エ・オ・カ 【思・判・表】 B(1)イ・ウ	・絵や写真などの情報を説明する文章を書く。 ・わかりやすい説明のしかたを身につける。	【知識・技能】 ・正確にわかりやすく説明するために適切な語句を選んだり、比喩や例示などの修辞を用いたりしている。〔(1)イ、エ、カ〕 ・わかりやすく説明するために効果的な文の組み立てを理解している。〔(1)オ〕 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、読み手にわかりやすく伝わるように、文章の構成や展開、表現のしかたを工夫している。〔(1)Bイ、ウ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・正確にわかりやすく説明する文章を書くことに意欲をもち、積極的に学習活動に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・作品（文章）
			料理レシピを書こう	【知・技】 (1)イ 【思・判・表】 B(1)ア・ウ (2)イ	・目的や読者に応じて、わかりやすい説明になるように情報を整理する。 ・目的や読者に応じて、説明のしかたを工夫して書く。	【知識・技能】 ・書き言葉の特徴や役割、表現の特色をふまえ、正確さ、わかりやすさ、適切さなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。〔(1)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて伝えたいことを明確にし、読み手の理解が得られるよう、表現のしかたを工夫している。〔(1)ア、ウ、(2)イ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・料理レシピを書く活動に興味をもち、わかりやすいレシピを書こうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
			ショートスピーチをしよう	【知・技】 (1)イ・オ 【思・判・表】 A(1)ア・イ・ウ	・話の構成や展開を工夫して話す。 ・声の大きさや話す速さ、表情や身振りなどを意識して話す。	【知識・技能】 ・話し言葉の特徴をふまえ、わかりやすさ、適切さに配慮した表現や言葉遣いについて理解している。〔(1)イ〕 ・話の効果的な組み立て方について理解している。〔(1)オ〕 【思考・判断・表現】 ・「話すこと・聞くこと」において、スピーチで話す内容を集め、伝えたいことを明確にして、話の構成や展開を工夫している。〔A(1)アイ〕 ・「話すこと・聞くこと」において、話し言葉の特徴をふまえ、声の大きさや話す速さ、表情や身振りなどを意識している。〔A(1)ウ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ショートスピーチをすることに意欲をもち、積極的に学習活動に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・スピーチ ・自己評価
		4 聞く力を育む	聞き取りのレッスン	【知・技】 (1)イ 【思・判・表】 A(1)エ	・大切なことを落とさずに、正確に書く。 ・自分にとって必要な情報を意識して、メモをとりながら聞く。	【知識・技能】 ・話し言葉の特徴や表現の特色をふまえ、正確に聞き取っている。〔(1)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「話すこと・聞くこと」において、必要な情報を意識しながら聞き、情報を適切に整理している。〔A(1)エ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「聞くこと」の大切さを理解し、聞き取りの学習活動に積極的に取り組もうとしている。	・観察 ・（ワークシート）メモ ・小テスト ・発言の内容 ・メモ
			ミニインタビューをしよう	【知・技】 (1)イ 【思・判・表】 A(1)ア・エ	・必要な情報を相手から引き出せるよう、質問しながら聞く。 ・話の展開に注意し、話を広げたり深めたりしながら聞く。 ・聞き取った情報を活用するためのメモを取る。	【知識・技能】 ・話し言葉の特徴をふまえ、適切な言葉遣いや表現を理解し、使っている。〔(1)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「話すこと・聞くこと」において、適切なテーマを決め、必要な情報を収集するためにインタビューのしかたを工夫している。〔A(1)ア〕 ・「話すこと・聞くこと」において、相手の反応を予想して話の内容や展開、質問のしかたを工夫しながらインタビューを行っている。〔A(1)エ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・インタビュー活動に興味をもち、積極的に学習に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート（メモ） ・相互評価 ・発言

学期	月	教科書単元名／教材名	学習指導要領との対応	学習の目標	評価規準例	評価方法等
		聞き取ったことをまとめよう	【知・技】 (1)イ 【思・判・表】 B(1)イ・ウ・エ	・聞き取った情報を整理したり編集したりし、わかりやすく効果的な文章を書く。 ・読み手からの助言などをふまえ、文章を整えたり、改善したりする。	【知識・技能】 ・書き言葉の特徴を理解し、わかりやすさや適切さ、効果的な伝え方を意識して文章を書いている。[(1)イ] 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、情報を整理したり編集したりし、わかりやすく効果的な文章になるよう、文章の種類、構成や展開、文体、語句などの表現のしかたを工夫している。[B(1)イ、ウ] ・「書くこと」において、読み手からの意見や助言をふまえて文章を整えたり改善したりしている。[B(1)エ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・インタビュー記事をまとめる学習に興味をもち、積極的に取り組もうとしている。	・観察 ・相互評価 ・ワークシート ・作品(記事)
	5	論理を読み取る	【知・技】 (2)ア・イ 【思・判・表】 C(1)ア	・主張と根拠、具体と抽象、対比に着目することで、論理展開をとらえる。 ・論理的な文章の要旨を的確に読み取る。	【知識・技能】 ・主張と根拠など情報と情報との関係について理解している。[(2)ア] ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。[(2)イ] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握している。[C(1)ア] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・論理的に読むことに興味をもち、具体と抽象、対比の関係、主張と根拠の関係をとらえる学習に意欲的に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
		論理の展開を読み取る オカビの胃袋はいくつか	【知・技】 (2)ア・イ 【思・判・表】 C(1)ア	・筆者の主張とその根拠を意識しながら読む。 ・具体例の働きをとらえ、具体と抽象の関係を考えながら読む。	【知識・技能】 ・主張と根拠など情報と情報との関係について理解している。[(2)ア] ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。[(2)イ] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握している。[C(1)ア] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に学習に取り組む、主張とその根拠、具体と抽象の関係をとらえようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
		論理の展開を読み取る 商品と贈り物の違い	【知・技】 (1)カ (2)イ 【思・判・表】 C(1)ア	・対比の関係を意識しながら読む。 ・具体例の働きをとらえ、具体と抽象の関係を考えながら読む。	【知識・技能】 ・対比、例示、言い換えなどについて理解している。[(1)カ] ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。[(2)イ] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握している。[C(1)ア] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に学習に取り組む、対比の関係、具体と抽象の関係をとらえようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
		論理の展開を読み取る 水の東西	【知・技】 (1)カ (2)イ 【思・判・表】 C(1)ア	・対比の關係に着目し、その意図を考えながら読む。 ・具体例の働きや具体と抽象の關係をとらえ、筆者の主張を読み取る。	【知識・技能】 ・比喩、例示、言い換えなどの修辭や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解している。 [(1)カ] ・個別の情報と一般化された情報との關係について理解している。 [(2)イ] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握している。 [C(1)ア] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に学習に取り組む、具体と抽象の關係、具体例の役割、筆者の主張などをとらえようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
	*	読書の広場	【知・技】 (3)ア 【思・判・表】 C(1)ア	・読書の意義について理解を深め、ノンフィクションの文章から筆者の思いを読み取る。	【知識・技能】 ・読書の意義と効用について理解を深めている。 [(3)ア] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、筆者の体験とそこから感じたことや考えたことについて、叙述をもとに的確にとらえ、要旨を把握している。 [C(1)ア] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・読書に意欲をもち、進んで本に手を伸ばそうとしている。	・観察 ・ワークシート
		ももこのいきもの図鑑	【知・技】 (1)オ・カ (3)ア 【思・判・表】 C(1)ア	・読書の意義について理解を深め、筆者のユーモアや技巧をとらえる。	【知識・技能】 ・文や文章の効果的な組み立て方や、比喩、言い換えなどの修辭を理解している。 [(1)オ、カ] ・読書の意義と効用について理解を深めている。 [(3)ア] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、筆者の着眼点のおもしろさや表現上の工夫を的確にとらえ、要旨を把握している。 [C(1)ア] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・読書に意欲をもち、進んで本に手を伸ばそうとしている。	・観察 ・ワークシート
		宇宙人はいますか？	【知・技】 (3)ア 【思・判・表】 C(1)ア・イ	・読書の意義について理解を深め、筆者の論理の展開や主張をとらえる。	【知識・技能】 ・読書の意義と効用について理解を深めている。 [(3)ア] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、筆者の論理の展開と主張と根拠の関係を、叙述をもとに的確にとらえ、要旨を把握している。 [C(1)ア] ・「読むこと」において、文章と図版に含まれている情報を相互に関連づけながら、筆者の意図を解釈し、自分の考えを深めている。 [C(1)イ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・読書に意欲をもち、進んで本に手を伸ばそうとしている。	・観察 ・ワークシート
		鉄を削る	【知・技】 (3)ア 【思・判・表】 C(1)ア	・読書の意義について理解を深め、叙述をもとに筆者の思いをとらえる。	【知識・技能】 ・読書の意義と効用について理解を深めている。 [(3)ア] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、具体的なエピソードとそこに込められた筆者の思いを、叙述をもとに的確にとらえ、要旨を把握している。 [C(1)ア] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・読書に意欲をもち、進んで本に手を伸ばそうとしている。	・観察 ・ワークシート

学期	月	教科書単元名／教材名	学習指導要領との対応	学習の目標	評価規準例	評価方法等
		本のPOPを作ろう	【知・技】 (1)エ 【思・判・表】 B(1)ア・ウ	・POPに必要な情報を整理し、伝えたいことを明確にする。 ・POPの表現の工夫を知り、効果的な紹介文を書く。	【知識・技能】 ・効果的なPOPを作るために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法および表記のしかたなどを理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 [(1)エ] 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、本の魅力を紹介するという意図に応じて適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。 [B(1)ア] ・「書くこと」において、本の魅力が的確に伝わるよう、文体、語句、レイアウトなどの表現のしかたを工夫している。 [B(1)ウ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・本のPOP作りに興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。	・観察 ・作品 (POP) ・相互評価 ・ワークシート ・自己評価
	6	伝え合いのレッスン	【知・技】 (1)イ 【思・判・表】 A(1)ア・ウ	・相手や場面に配慮した言葉遣いや表現のしかたを知る。 ・コミュニケーションにおける言葉以外の要素の大切さを知り、対話に生かす。	【知識・技能】 ・話し言葉の特色をふまえ、相手や場面に配慮した言葉遣いや表現のしかたを理解し、使っている。 [(1)イ] 【思考・判断・表現】 ・「話すこと・聞くこと」において、相手や場面に配慮し、言葉以外の要素も意識しながら、話の内容や表現のしかたを工夫している。 [A(1)ア、ウ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・対話の力やコミュニケーション力を高めることに興味をもち、意欲的に学習活動に取り組もうとしている。	・発表 ・ワークシート ・観察
		テーマを決めて話し合おう	【知・技】 (1)イ 【思・判・表】 A(1)ア・イ・オ (2)ウ	・さまざまな方法を用いて、アイデアを広げたり整理したりする。 ・話し合いの目的を意識し、目的に沿った話し合いの進め方を考える。 ・議論の広げ方や深め方、結論の出し方を工夫して話し合う。	【知識・技能】 ・話し言葉の特色をふまえ、相手に配慮した言葉遣い、わかりやすい言葉遣いを理解している。 [(1)イ] 【思考・判断・表現】 ・「話すこと・聞くこと」において、目的に応じて情報を収集、整理し、自分の立場や考えを明確にして、構成や展開を工夫しながら話している。 [A(1)ア、イ] ・「話すこと・聞くこと」において、議論の広げ方や深め方、結論の出し方を工夫して話し合っている。 [A(1)オ、(2)ウ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・話し合いの活動に興味をもち、よりよい話し合いをしようとしている。	・発表 ・ワークシート ・観察
	7	説得力を高める	【知・技】 (1)オ 【思・判・表】 B(1)イ・エ	・意見文の基本的な書き方と、構成のしかたを知る。 ・意見と理由を備えた基本的な意見文を書く。	【知識・技能】 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続のしかたについて理解している。 [(1)オ] 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、意見と理由(根拠)の関係を考え、文章の構成や展開を工夫している。 [B(1)イ] ・「書くこと」において、推敲の観点を理解して自分が書いた文章を見直し、文章全体を整えたり改善したりしている。 [B(1)エ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・意見文を書くことに興味をもち、意見文の基礎を意欲的に習得しようとしている。	・観察 ・ワークシート ・作品 (意見文) ・小テスト
		反対意見を想定した意見文を書こう	【知・技】 (1)オ 【思・判・表】 B(1)イ・エ	・反対意見を想定しつつ、自分の意見を説得力のある意見文にまとめる。	【知識・技能】 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続のしかたについて理解している。 [(1)オ] 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、自分の意見により説得力をもたせるために、反対意見を想定し、文章の構成や展開を工夫している。 [B(1)イ] ・「書くこと」において、推敲の観点を理解して自分が書いた文章を見直し、文章全体を整えたり改善したりしている。 [B(1)エ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・意見文を書くことに興味をもち、より説得力のある意見文を書こうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・意見文 ・作品 (意見文)
		ミニ討論会をしよう	【知・技】 (1)オ (2)ア 【思・判・表】 A(1)イ (2)ア	・自分の考えが効果的に伝わるように、根拠を明確にして効果的に主張する。 ・相手の主張と根拠の関係をとらえて反論する。	【知識・技能】 ・主張と根拠の関係や、話の効果的な組み立て方について理解している。 [(1)オ、(2)ア] 【思考・判断・表現】 ・「話すこと・聞くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。 [A(1)イ、(2)ア] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・討論をすることに興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
	8	情報と向き合う	【知・技】 (2)ア・エ 【思・判・表】 C(1)イ	・視点や根拠に注意し、情報を吟味しながら読む。 ・図表などから必要な情報を読み取る。	【知識・技能】 ・主張と根拠など情報と情報との関係について理解している。 [(2)ア] ・情報の妥当性や信頼性の吟味のしかたについて理解を深め使っている。 [(2)エ] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりし、自分の考えを深めている。 [C(1)イ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・視点や根拠に注意し、図表などから必要な情報を意欲的に読み取ろうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト

学期	月	教科書単元名／教材名	学習指導要領との対応	学習の目標	評価規準例	評価方法等	
		情報を吟味しながら読もう 情報の力関係	【知・技】 (2)ア・エ 【思・判・表】 C(1)イ	・図との関係に注意しながら、文章を読み取る。 ・文字・図形・絵などが読者に与える効果の違いについて考える。	【知識・技能】 ・主張と根拠など情報と情報との関係について理解している。[(2)ア] ・情報の妥当性や信頼性の吟味のしかたについて理解を深めている。[(2)エ] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章や図形などに含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりし、自分の考えを深めている。[C(1)イ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・視点や根拠に注意し、文章や図形などから必要な情報を読み取るようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト	
		情報を吟味しながら読もう 世界は私にほほえんでいる	【知・技】 (2)ア 【思・判・表】 C(1)イ	・図との関係に注意しながら、文章を読み取る。 ・筆者の主張と根拠の関係を吟味しながら読む。	【知識・技能】 ・主張と根拠など情報と情報との関係について理解している。[(2)ア] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章や図を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開について評価したりし、自分の考えを深めている[C(1)イ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・図との関係に注意しながら、筆者の主張を読み取るようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト	
		情報を吟味しながら読もう どこもかしこもプラスチック！	【知・技】 (2)エ 【思・判・表】 C(1)イ	・文章とグラフとの関係に注意しながら、文章を読み取る。 ・筆者の主張とその根拠の関係を吟味しながら読み、自分の意見をもつ。	【知識・技能】 ・情報の妥当性や信頼性の吟味のしかたについて理解している。[(2)エ] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章やグラフに含まれている情報を相互に関連づけながら内容を理解し、自分の考えを深めている。[C(1)イ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・グラフとの関係に注意しながら論旨を読み取り、自分の考えをもとようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト	
		レポートを書こう	【知・技】 (2)エ 【思・判・表】 B(1)ア・イ	・テーマを決め、適切な方法で情報を集める。 ・集めた情報を根拠として、説得力のあるレポートをまとめる。	【知識・技能】 ・情報の妥当性や信頼性の吟味のしかたについて理解している。 [(2)エ] ・横書きの文章の書き方、引用のルール、参考文献の示し方などを理解している。 [(1)エ、(2)オ] 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。 [B(1)ア] ・「書くこと」において、集めた情報を整理し、読み手の理解が得られるように、論の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。 [B(1)イ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・情報収集や情報の吟味をしてレポートを書くことに、意欲的に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・レポート	
	9	他者を動かす	魅力的な企画書を書こう	【知・技】 (1)イ 【思・判・表】 B(1)ア・ウ	・対象者を明確にし、対象者を説得することができる企画書を書く。 ・企画書に必要な要素を知り、見やすく、わかりやすい企画書をまとめる。	【知識・技能】 ・書き言葉の特徴や役割をふまえ、目的に応じた表現や言葉遣いを理解している。 [(1)イ] 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて題材を決め、相手を意識しながら必要な情報を整理して、伝えたいことを明確にしている。 [B(1)ア] ・「書くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、説明のしかたや表現のしかたを工夫している。 [B(1)ウ] 【主体的に学習に取り組む姿勢】 ・企画書を書く活動に興味をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	・観察 ・作品（企画書）
			プレゼンテーションをしよう	【知・技】 (1)イ 【思・判・表】 A(1)ウ(2)エ	・聞き手の心を動かし、目的を達成するために、構成や発表のしかたを工夫する。 ・さまざまな資料を活用しながら発表する。	【知識・技能】 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色をふまえ、正確にわかりやすく話したり、効果的な発表資料を作成したりしている。 [(1)イ] 【思考・判断・表現】 ・「話すこと・聞くこと」において、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いながら、相手の心を動かすことができるよう表現を工夫して発表している。 [A(1)ウ、(2)エ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・プレゼンテーションすることに意欲をもち、積極的に学習に取り組んでいる。	・観察 ・発表 ・発表資料 ・ワークシート
			相手を動かす依頼状を書こう	【知・技】 (1)イ・エ 【思・判・表】 B(1)ア・ウ (2)イ	・相手や目的に応じて、適切な通信手段を選択する。 ・相手の気持ちを動かすような依頼状を書く。	【知識・技能】 ・書き言葉の特徴をふまえて適切な敬語や頭語と結語などを用い、基本的手紙の形式を理解して依頼状を書いている。 [(1)イ、エ] 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、相手や目的を意識して適切な通信手段を選び、相手の気持ちを動かす依頼状になるよう内容や形式を検討している。 [B(1)ア、ウ、(2)イ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・依頼状を書く活動に意欲をもち、積極的に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・作品(依頼状)
	10	社会に目を向けて	自分の考えを深めながら読もう 導入ページ	【知・技】 (2)ア・イ 【思・判・表】 C(1)ア・イ	・筆者の主張を的確に読み取り、それに対する自分の意見をもつ。 ・読み取ったことをもとに、自分の考えを広げたり深めたりする。	【知識・技能】 ・筆者の主張とその根拠の関係について理解している。 [(2)ア] ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 [(2)イ] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、筆者の主張を的確に読み取り、文章の内容について自分の考えを深めている。 [C(1)ア、イ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・進んで文章の内容をとらえようとするとともに、自分の考えをもち、意欲的に伝えようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト

学期	月	教科書単元名／教材名	学習指導要領との対応	学習の目標	評価規準例	評価方法等
		自分の考えを深めながら読もう 何のために「働く」のか	【知・技】 (1)カ (2)ア 【思・判・表】 C(1)ア・イ	・筆者の問題意識と主張を、具体例に気をつけながら読み取る。 ・読み取ったことをふまえて、自分の考えを広げる。	【知識・技能】 ・例示や言い換えなどの述べ方について理解している。[(1)カ] ・筆者の主張とその根拠の関係について理解している。[(2)ア] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、筆者の主張とその根拠となる具体例についてとらえている。[C(1)ア] ・「読むこと」において、文章の内容について自分の考えを深めている。[C(1)イ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・進んで文章の内容をとらえようとするとともに、自分の考えをもち、意欲的に伝えようとしている。	・観察 ・ワークシート ・定期考査
		自分の考えを深めながら読もう 自分の考えをつくるために	【知・技】 (2)イ 【思・判・表】 C(1)ア・イ	・文章の構成のしかたや具体例の役割に注意しながら、筆者の主張を読み取る。 ・筆者の主張をふまえて、自分の考えを深める。	【知識・技能】 ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。[(2)イ] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の構成に着目しながら、筆者の主張をとらえている。[C(1)ア] ・「読むこと」において、筆者の主張をふまえて自分の考えを深めている。[C(1)イ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・進んで文章の内容をとらえようとするとともに、自分の考えをもち、意欲的に伝えようとしている。	・観察 ・ワークシート ・定期考査

計

大修館書店『新編 言語文化』[言文706] 真和志高校・シラバス

科目	単位数	指導学年	使用教科書
言語文化	2単位(70時間)	第1学年	大修館書店『新編 言語文化』

学習の到達目標	1. 国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高める。 2. 思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにする。 3. 言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深める。 4. 国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。
---------	--

学期	月	編	教科書単元名/教材名	学習指導要領との対応	学習の目標	評価規準例	評価方法等
		現代	1 ことばと出会う 言葉の森を育てよう	【知・技】 (1)ア 【思・判・表】 B(1)ア	・言葉についての筆者の考えを読み取り、言葉が果たしている役割を理解する。 ・日常使っている言葉を見つめ直す。	【知識・技能】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。〔(1)ア〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確にとらえている。〔B(1)ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・言葉についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、日常使っている言葉を見つめ直そうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
		現代	1 ことばと出会う 季節の言葉と出会う	【知・技】 (1)ア 【思・判・表】 B(1)イ	・日本で受け継がれてきた自然観や美意識について、筆者の主張をとらえる。 ・季節に興味をもつとともに、日本独特の自然の味わい方について、自分の考えを深める。	【知識・技能】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。〔(1)ア〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、作品や文章に表れている筆者のものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。〔B(1)イ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・日本の伝統的な自然観や美意識について筆者の主張をとらえることに興味をもち、季節や日本独特の自然の味わい方に対して関心をもちようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
		現代	1 ことばと出会う 漢字と仮名の使い分け	【知・技】 (1)ウ (2)ア 【思・判・表】 B(1)ア	・日本語の表記の特色について、筆者の主張をとらえる。 ・表記に興味をもち、調べたり考えたりする。	【知識・技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増やし、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して語感を磨き、語彙を豊かにしている。〔(1)ウ〕 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。〔(2)ア〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確にとらえている。〔B(1)ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・日本語の表記の特色や独自性について学習した内容をもとにして、自らの言語感覚を磨き、語彙を増やそうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
		現代	2 表現を味わう 水かまきり	【知・技】 (1)エ 【思・判・表】 B(1)ウ	・文学作品の描写や会話、特徴のある表現を味わい、登場人物の人間関係や心理を読み取る。 ・オノマトペの表現効果をとらえる。	【知識・技能】 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。〔(1)エ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現のしかた、表現の特色について評価している。〔B(1)ウ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・文学作品の描写や会話、特徴のある表現に興味をもち、登場人物の人間関係や心理を読み取ろうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
		現代	2 表現を味わう とんかつ	【知・技】 (1)エ 【思・判・表】 B(1)ウ	・登場人物の描写から人物像をとらえ、場面ごとの心情を読み取る。 ・語り手の役割や場面の展開に着目し、作品の構造を理解する。	【知識・技能】 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。〔(1)エ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現のしかた、表現の特色について評価している。〔B(1)ウ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・登場人物の人物像や心情を読み取ることに興味をもち、作品の構造を理解しようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
		現代	2 表現を味わう (読書の広場) 一瞬の風になれ	【知・技】 (2)カ 【思・判・表】 B(1)ウ	・読書に興味をもち、積極的に読書に取り組む。 ・登場人物の人間関係や心情、印象的な言葉や表現などを意識しながら、作品を味わう。	【知識・技能】 ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。〔(2)カ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。〔B(1)ウ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・読書に興味をもち、登場人物の人間関係や印象的な言葉などを意識しながら作品を味わおうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
		現代	2 表現を味わう (読書の広場) 鏡	【知・技】 (2)カ 【思・判・表】 B(1)ア・ウ	・語りの役割や場面の展開に着目しながら、物語のおもしろさを読み味わう。 ・作品の構造や語り手の視点を意識しながら、作品を味わう。	【知識・技能】 ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。〔(2)カ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確にとらえている。〔B(1)ア〕 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現のしかた、表現の特色について評価している。〔B(1)ウ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・読書に興味をもち、作品の構造や語り手の視点を意識しながら、作品を味わおうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
		現代	3 文化を見つめる 足し算の文化	【知・技】 (2)ア 【思・判・表】 B(1)ア	・日本文化の特徴について、筆者の主張をとらえる。 ・身のまわりの例を探しながら、日本文化の特色について理解を深める。	【知識・技能】 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。〔(2)ア〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確にとらえている。〔B(1)ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・日本文化の特徴について筆者の主張をとらえることに興味をもち、日本文化の特色について理解を深めようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
		現代	3 文化を見つめる ほどほどのデザイン	【知・技】 (1)ウ 【思・判・表】 B(1)ア	・日本のデザインに見られる独特の感性について、筆者の主張を読み取る。 ・デザインをとらえて、日本文化の特色について自分の考えを深める。	【知識・技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)ウ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確にとらえている。〔B(1)ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・日本のデザインについて筆者の主張を読み取ることに興味をもち、デザインをとらえて日本文化の特色について自分の考えを深めようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
		現代	4 物語を受け継ぐ 羅生門 ◆参考『今昔物語集』巻第二九第一八	【知・技】 (1)イ (2)カ 【思・判・表】 B(1)イ・ウ	・小説の構成をとらえ、登場人物の心情の変化を読み取る。 ・元になった古典作品との比較をふまえて、内容の解釈を深める。	【知識・技能】 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。〔(1)イ〕 ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。〔(2)カ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。〔B(1)イ〕 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。〔B(1)ウ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとらえて他者や社会に意欲的に関わろうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト

大修館書店『新編 言語文化』[言文706] 真和志高校・シラバス

科目	単位数	指導学年	使用教科書
言語文化	2単位(70時間)	第1学年	大修館書店『新編 言語文化』

学習の到達目標	1. 国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高める。 2. 思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにする。 3. 言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深める。 4. 国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。
---------	--

学期	月	編	教科書単元名／教材名	学習指導要領との対応	学習の目標	評価規準例	評価方法等
		現代	5 ことばと生きる 祖母が笑うということ	【知・技】 (1)エ 【思・判・表】 B(1)ウ	・叙述をもとに、場面の様子や人物の心情を想像しながら読む。 ・文章の展開のしかたや表現のしかたに着目し、文章表現を味わう。	【知識・技能】 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 [(1)エ] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 [B(1)ウ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、場面の様子や人物の心情を想像したり文章表現を味わったりしようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
		現代	5 ことばと生きる ことばは光	【知・技】 (1)エ 【思・判・表】 B(1)ウ	・筆者の経験や、ものの見方、考え方を的確に読み取る。 ・読み取ったことをふまえて、自分の経験を振り返り、考えを深める。	【知識・技能】 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 [(1)エ] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現のしかた、表現の特色について評価している。 [B(1)ウ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・筆者の経験やものの見方を読み取ることに興味をもち、自分の考えを深めようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
		現代	5 ことばと生きる コルベ神父	【知・技】 (1)エ 【思・判・表】 B(1)ウ	・文章の展開のしかたを的確にとらえ、筆者の考えを理解する。 ・時代背景や歴史的事実をふまえながら文章を読み、内容の解釈を深める。	【知識・技能】 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 [(1)エ] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現のしかた、表現の特色について評価している。 [B(1)ウ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・時代背景や歴史的事実に興味をもち、筆者の考えを読み取ろうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
		現代	6 近代文学に触れる 夢十夜	【知・技】 (1)ウ (2)カ 【思・判・表】 B(1)ウ	・作品の状況設定を的確にとらえ、叙述から人物の心情や象徴性を読み取る。 ・ほかの作品と比較して読むことで、作品の解釈を深める。	【知識・技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 [(1)ウ] ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。 [(2)カ] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現のしかた、表現の特色について評価している。 [B(1)ウ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、作品の表現に注目しながら読もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
		現代	6 近代文学に触れる 形 ◆参考『常山紀談』松山新介の勇将 中村新兵衛が事	【知・技】 (1)エ 【思・判・表】 B(1)エ B(2)ウ	・場面や登場人物の設定を的確にとらえ、小説を味わう。 ・元になった古典作品との比較をふまえて、内容の解釈を深める。	【知識・技能】 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 [(1)エ] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 [B(1)エ] ・「読むこと」において、異なる時代に成立した随筆や小説、物語などを読み比べ、それらと比較して論じたり批評したりする活動を通して、内容の解釈を深めている。 [B(2)ウ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、場面や登場人物の設定をとらえて小説を味わおうとしている。元になった古典作品との比較に興味をもっている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
		詩歌	詩歌の調べ 春のうた／夏のうた／秋のうた／冬のうた	【知・技】 (2)ウ 【思・判・表】 A(1)イ B(1)イ	・それぞれの作品に描かれている情景や心情を読み取る。 ・詩歌の形式や表現の特徴について理解を深める。	【知識・技能】 ・詩歌に親しみ、理解するために必要な文語のきまりや訓読のきまり、詩歌の形式、古典特有の表現などについて理解している。 [(2)ウ] 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現のしかたを工夫している。 [A(1)イ] ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 [B(1)イ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・四季の詩歌を読むことに興味をもち、詩の形式や表現の特徴を意識しながら、情景や心情を味わおうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
		古文	1 古文に親しむ 古文への招待 いろは歌 ◆参考 いろはカルタの世界 古文冒頭選	【知・技】 (1)ア (2)エ 【思・判・表】 B(1)イ・ウ	・古典の言葉と現代の言葉のつながりについて理解する。 ・受け継がれてきた古文を音読し、響きやリズムを味わう。	【知識・技能】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 [(1)ア] ・時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。 [(2)エ] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 [B(1)イ] ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現のしかた、表現の特色について評価している。 [B(1)ウ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・古文を読むことに興味をもち、積極的に音読したり響きやリズムを味わったりしようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
		古文	1 古文に親しむ 児のそら寝	【知・技】 (2)ウ 【思・判・表】 B(1)ア・イ	・繰り返し音読し、古文の読みに慣れる。 ・児と僧たちの行動、心情の移り変わりを読み取る。	【知識・技能】 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 [(2)ウ] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確にとらえている。 [B(1)ア] ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 [B(1)イ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・古文を読むことに興味をもち、積極的に読みに慣れようとしている。登場人物の行動や心情を読み取ろうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
		古文	1 古文に親しむ 十二の「子」文字	【知・技】 (2)ア・ウ 【思・判・表】 B(1)ア	・誰の発言かに注意し、物語の内容を読み取る。 ・漢字の読みと日本の言語文化についての理解を深める。	【知識・技能】 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 [(2)ア] ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや、古典特有の表現などについて理解している。 [(2)ウ] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 [B(1)ア] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、物語の内容を積極的に読み取ろうとしている。漢字の読みの多様性について関心を深めようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト

大修館書店『新編 言語文化』[言文706] 真和志高校・シラバス

科目	単位数	指導学年	使用教科書
言語文化	2単位(70時間)	第1学年	大修館書店『新編 言語文化』

学習の到達目標	1. 国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高める。 2. 思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにする。 3. 言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深める。 4. 国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。
---------	--

学期	月	編	教科書単元名/教材名	学習指導要領との対応	学習の目標	評価規準例	評価方法等
		古文	1 古文に親しむ 阿蘇の史、盗人にあひてのがるること	【知・技】 (2)ウ 【思・判・表】 B(1)ア・イ	・段落ごとのまとまりを意識しながら読む。 ・事件の展開と、登場人物の行動を読み取る。	【知識・技能】 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 [(2)ウ] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 [B(1)ア] ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 [B(1)イ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、事件の展開や登場人物の行動を読み取ろうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
		古文	2 随筆を楽しむ 徒然草 高名の木登り/公世の二位のせうとに/奥山に猫またといふもの/神無月のころ	【知・技】 (2)ウ 【思・判・表】 B(1)ア・イ	・音読して古文の読みに慣れ、文章の内容を正確に読み取る。 ・作者のものの見方や感じ方について、自分の考えをもつ。	【知識・技能】 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 [(2)ウ] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 [B(1)ア] ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 [B(1)イ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・『徒然草』に興味をもち、作者のものの見方や感じ方を読み取り、自分の考えをもつようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
		古文	2 随筆を楽しむ 枕草子 春はあけぼの/うつくしきもの/にくきもの	【知・技】 (2)ウ 【思・判・表】 A(1)ア B(1)ア・イ	・音読して古文の読みに慣れ、文章の特色を理解する。 ・作者のものの見方や感じ方について、自分の考えをもつ。	【知識・技能】 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 [(2)ウ] 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしている。 [A(1)ア] ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 [B(1)ア] ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 [B(1)イ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・『枕草子』に興味をもち、作者のものの見方や感じ方を読み取り、自分の考えをもつようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
		古文	3 物語の広がり 伊勢物語 芥川/筒井筒/あづま下り	【知・技】 (2)ウ 【思・判・表】 B(1)ア・ウ	・登場人物の行動や場面の展開を正確に把握する。 ・和歌に表れた心情を読み取り、本文の中で和歌が果たしている役割を考える。	【知識・技能】 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 [(2)ウ] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 [B(1)ア] ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 [B(1)ウ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、登場人物の行動や場面の展開、和歌に表れた心情を読み取ろうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
		古文	3 物語の広がり 平家物語 木曾の最期	【知・技】 (2)オ 【思・判・表】 B(1)ア・ウ	・音読して文体の特徴をとらえる。 ・登場人物の心情の変化を読み取る。	【知識・技能】 ・言文一致体や和漢混交文など歴史的な文体の変化について理解を深めている。 [(2)オ] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 [B(1)ア] ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 [B(1)ウ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・『平家物語』に興味をもち、音読して文体の特徴を味わったり、人物の心情の変化を読み取ったりしようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
		古文	4 旅への思い 土佐日記 門出/旅の終わり	【知・技】 (2)イ 【思・判・表】 B(1)イ・エ	・文章の展開や和歌の内容に注意して、登場人物の心情を読み取る。 ・作品の主題と表現の特色を理解する。	【知識・技能】 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 [(2)イ] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 [B(1)イ] ・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 [B(1)エ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、文章の展開や和歌の内容、登場人物の心情を読み取ろうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
		古文	4 旅への思い 更級日記 あこがれ	【知・技】 (2)イ 【思・判・表】 B(1)イ・エ	・文章の展開に即して作者の心情を読み取る。 ・当時、物語や書物がどのように享受されていたか考える。	【知識・技能】 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 [(2)イ] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 [B(1)イ] ・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 [B(1)エ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、文章の展開に即して作者の心情を読み取ろうとしている。 ・古人の物語や旅に対する思いについて考えを深めようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
		古文	4 旅への思い おくのほそ道 旅立ち	【知・技】 (2)イ 【思・判・表】 B(1)ウ・エ	・音読して文体の特徴をとらえ、文章の内容を読み取る。 ・文と句の関係に注意して、それぞれの句に詠まれた情景や心情を考える。	【知識・技能】 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 [(2)イ] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 [B(1)ウ] ・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 [B(1)エ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、文章の内容を読み取ったり、句に詠まれた情景や心情を考えたりしようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
		漢文	1 漢文に親しむ 訓読のきまり/格言/再読文字	【知・技】 (2)ア・ウ 【思・判・表】 B(1)オ	・漢文の訓読のきまりについて理解する。 ・漢語・漢文と我が国の言語文化の関係について理解を深める。	【知識・技能】 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 [(2)ア] ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 [(2)ウ] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 [B(1)オ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・漢文に興味をもち、訓読に意欲的に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト

大修館書店『新編 言語文化』[言文706] 真和志高校・シラバス

科目	単位数	指導学年	使用教科書
言語文化	2単位(70時間)	第1学年	大修館書店『新編 言語文化』

学習の到達目標	1. 国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高める。 2. 思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにする。 3. 言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深める。 4. 国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。
---------	--

学期	月	編	教科書単元名/教材名	学習指導要領との対応	学習の目標	評価規準例	評価方法等
		漢文	2 現代に生きることば 守株	【知・技】 (2)ウ 【思・判・表】 B(1)ア・イ	・「株を守る」という言葉の意味について、考えを深める。 ・この話で語られている教訓の意義を理解する。	【知識・技能】 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 [(2)ウ] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 [B(1)ア] ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 [B(1)イ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・漢文に興味をもち、漢文を読む学習に意欲的に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
		漢文	2 現代に生きることば 五十歩百歩	【知・技】 (2)ウ 【思・判・表】 B(1)ア・イ	・「五十歩百歩」という言葉の意味について、考えを深める。 ・この話で語られている教訓の意義を理解する。	【知識・技能】 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 [(2)ウ] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 [B(1)ア] ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 [B(1)イ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・漢文に興味をもち、漢文を読む学習に意欲的に取り組み、故事成語の理解を深めようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
		漢文	2 現代に生きることば 蛇足	【知・技】 (2)ウ 【思・判・表】 B(1)ア・イ	・「蛇足」という言葉の意味について、考えを深める。 ・この話で語られている教訓の意義を理解する。	【知識・技能】 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 [(2)ウ] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 [B(1)ア] ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 [B(1)イ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・漢文に興味をもち、漢文を読む学習に意欲的に取り組み、故事成語の理解を深めようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
		漢文	2 現代に生きることば 借虎威	【知・技】 (2)ウ 【思・判・表】 B(1)ア・イ	・「虎の威を借る狐」という言葉の意味について、考えを深める。 ・この話で語られている教訓の意義を理解する。	【知識・技能】 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 [(2)ウ] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 [B(1)ア] ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 [B(1)イ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・漢文に興味をもち、漢文を読む学習に意欲的に取り組み、故事成語の理解を深めようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
		漢文	3 古人に学ぶ 論語 学問のすすめ/社会に生きる	【知・技】 (2)ウ 【思・判・表】 B(1)イ・オ	・『論語』の内容を正確にとらえ、学問と人生について孔子の考え方を理解する。 ・孔子の思想と現代との関わりについて、自分の考えを深める。	【知識・技能】 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 [(2)ウ] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 [B(1)イ] ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 [B(1)オ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・漢文を読むことに興味をもち、『論語』と現代との関わりについて考えを深めようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
		漢文	4 漢文を楽しむ 完璧	【知・技】 (2)エ 【思・判・表】 B(1)ア	・音読を通して漢文訓読の口調に習熟する。 ・古人が示した知恵や教訓について、正確に理解する。	【知識・技能】 ・時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。 [(2)エ] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 [B(1)ア] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・漢文に興味をもち、その知恵や教訓を積極的に読み取ろうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
		漢文	4 漢文を楽しむ 鶏鳴狗盗	【知・技】 (2)エ 【思・判・表】 B(1)ア	・音読を通して、漢文訓読の口調に習熟する。 ・豊かな人間性の表れた物語を読み味わい、表現の特徴を理解する。	【知識・技能】 ・時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。 [(2)エ] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 [B(1)ア] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・漢文に興味をもち、登場人物の人間性を積極的に読み取ろうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
		漢文	4 漢文を楽しむ 人面桃花	【知・技】 (2)カ 【思・判・表】 B(1)ア・ウ	・音読を通して、漢文訓読の口調に習熟する。 ・豊かな人間性の表れた物語を読み味わい、表現の特徴を理解する。	【知識・技能】 ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。 [(2)カ] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 [B(1)ア] ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 [B(1)ウ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・漢文に興味をもち、登場人物の人間性を積極的に読み取ろうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト

計
現代
古文
漢文
詩歌

科目	現代文B	単位	2単位×35週＝70時間	学年	3年
使用教科書	新編現代文B(東京書籍)	現B321	副教材等	「新編現代文B学習課題ノート」(準拠ノート)など	

1 学習の到達目標など

近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。

2 使用教科書など

使用教科書	東京書籍「新編現代文B」(現B321)
副教材	「新編現代文B学習課題ノート」(準拠ノート) / 「新総合図説国語」

3 評価の観点、及び内容、方法

評価の観点	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
評価の内容	国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりして、自分の考えを深め、発展させている。	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身に付けている。
評価の方法	・行動の観察(学習活動への参加姿勢や態度) ・記述の確認(ノート、プリント、ワークシート)	・行動の観察(学習活動における発言内容や態度) ・記述の確認(ノート、プリント、ワークシート)	・記述の確認(ノート、プリント、ワークシート、レポート・感想文などの作成した文章) ・定期考査	・行動の観察(学習活動における発言内容や態度) ・記述の確認(ノート、プリント、ワークシート) ・定期考査	・行動の観察(学習活動における発言内容) ・記述の確認(ノート、プリント、ワークシート) ・定期考査

4 学習計画、及び評価規準など

学期	月	時数	単元名 単元目標	教材名	学習内容 【言語】-単元で取り上げる言語活動	主な評価規準の具体例
						【話】-話す・聞く / 【書】-書く / 【読】-読む / 【知】-知識・理解 〈評価方法〉 学習指導要領の指導事項(主として該当するもの)
	4	8	1 評論 1 ▼論理展開に注意して評論を読んで、扱われている問題を正確に捉えよう。 ▼筆者の考え方を手がかりにして、現代社会を生きていくうえでどのような態度が必要なのか考えよう。	最初のペンギン	・「有限の立場」とはどのような立場かを理解する。(手引き2) ・「最初のペンギン」という言葉の意味と筆者の言う「創造的な人間」の意味を正確に捉えて、両者の共通点を理解する。(手引き4) ・不確実な現代において、われわれはどのようにして判断や行動をしていけばいいかを理解する。(手引き5) 【言語】 科学文明、機械文明が発達した現代において、当然のようにあるものがどのように開発、発展してきたかを調べ、そのものの存在意義をまとめて、発表する。	【話】 自分が調べたことをもとに考えをまとめ、正確に発信している。〈行動の観察〉 —エ 【読】 「不確実な状況下」での判断と行動を「最初のペンギン」という例示で説明する論理の展開を正確に読み取り、筆者の主張や意見を理解している。〈行動の観察/記述の確認/定期考査〉 —イ 【知】 「演繹」などの評論における難解な語句の意味や用法を的確に理解している。〈行動の観察/定期考査〉 —オ

5	7	2 小説 1 ▼優れた小説が、構成や表現の面でどのように工夫されているかを理解しよう。 ▼小説を読むことをとおして、自分とは何か、人間とは何かという問題について考えを深めよう。	山月記	<ul style="list-style-type: none"> ・主人公李徴の発言によって、小説が構成されていることを理解する。(手引き 1, 2) ・前半部で語られる李徴の状況と人間像を理解する。また、虎に変身する過程とその時の李徴の心理変化を理解する。(手引き 3, 4) ・李徴が袁愔に依頼したことを理解する。(手引き 5) ・李徴自身の気がついた、虎に変身しなければならなかった理由を理解する。(手引き 6) ・作者がこの小説で語りたかったことを理解する。(手引き 6) 【言語】 李徴の生き方についての意見を文章にまとめて、お互いに発表する。	【話】 李徴の生き方についての意見を的確にまとめて、正確に発信している。＜行動の観察／定期考査＞ —エ 【書】 李徴の生き方についての意見を文章にまとめることができる。＜記述の確認＞ —エ 【読】 前半部の李徴の状況と心理状態、虎になって袁愔に語る自己分析と心理を的確に理解している。＜行動の観察／記述の確認／定期考査＞ —イ・ウ 【知】 前半部に集中している漢語の意味を的確に理解している。また、小説における比喩や象徴的な表現も理解している。＜行動の観察／定期考査＞ —オ
6	3	言語活動	1 文学的文章を読んで話し合う	<ul style="list-style-type: none"> ・小説における登場人物の心理を読み取り、そこから理由を明確にして自分の意見をまとめる。 ・テーマを設定して話題が逸れないように工夫し、それぞれの意見を交換してお互いに批評し合う。 ・話し合ったことをもとに、自分の意見の検証をする。 	【話】 設定したテーマに沿って自分の考えを論理的に発信している。＜行動の観察＞ —エ 【書】 話し合いをもとに自分の意見を検証してまとめている。＜記述の確認＞ —エ 【知】 発表するのに必要な語句を的確に使用している。＜行動の観察／定期考査＞ —オ
7	4		カンガルー日和 ◆小説の楽しみ ③…小説のオリジナリティー	<ul style="list-style-type: none"> ・カンガルーの赤ん坊を見に行くことになった経緯と、実際に見ている場面の展開を理解する。(手引き 1) ・カンガルーの赤ん坊を確認する前と後の、彼女の心境の変化を理解する。(手引き 2) ・カンガルーの赤ん坊を「彼女」が確認する前と後の、「僕」の心境の変化を理解する。(手引き 3) ・作者独特の軽妙な会話や極端な着想と比喩表現を理解する。(手引き 4) 【言語】 <ul style="list-style-type: none"> ・「才能が枯れ尽きてしまった作曲家のような顔つき」のような極端な比喩表現を味わう。 ・一般に「行楽日和」などと使われる「日和」を本来なら結びつかない「カンガルー」と結びつけた作者の意図を理解する。 	【話】 「カンガルー日和」という題名の効果について、自分の意見を的確にまとめて、正確に発信している。＜行動の観察／定期考査＞ —エ 【読】 僕と彼女の会話から登場人物の人間像と、その心理変化を理解していると同時に、作者独特の比喩表現に込められた作者の思いを理解している。＜行動の観察／記述の確認／定期考査＞ —イ・ウ 【知】 作者独特の比喩に込められた暗示性を理解している。＜行動の観察／記述の確認／定期考査＞ —オ

	9	3	3 随想 ▼個性的な表現に注意しながら随想を	カフェの开店準備	<ul style="list-style-type: none"> ・ごく平凡な日常生活に対する筆者の観察の細かさを、自分の体験と比較して理解する。(手引き1) ・「目的」と「行為」という言葉に対する、筆者の考えを理解する。(手引き2) 	<p>[話] 筆者の「生」に関する考えを理解し、それに対する自分の考えを的確に発信している。<行動の観察></p> <p>—エ</p>
			読んで、その内容を的確に捉えよう。 ▼日常への鋭い視線、逆転の発想が描かれた文章を読み、視野を広げよう。		<ul style="list-style-type: none"> ・「行為が習慣化したとたん、その行為の源にある生命力は死ぬ。」という言葉の意味を理解し、筆者の「私たちの生」に関する考えを理解する。(手引き3) <p>【言語】 筆者の考える「生」を自分の日常の中で捉えて、どのようなことが言えるかをまとめる。</p>	<p>[読] 筆者の言う「目的」と「行動」の意味を理解している。また、それを自らの日常生活に照らして考えている。<行動の観察/記述の確認/定期考査></p> <p>—イ</p> <p>[知] 基礎的な語句の意味や用法を理解している。<行動の観察/定期考査></p> <p>—オ</p>
		2		物語の外から ◆言葉の扉③… 的確な表現のために	<ul style="list-style-type: none"> ・二人の「語り」の場面で筆者が感じたことを理解する。(手引き1) ・語り部の男性・女性の行動や様子を把握し、「語り」について理解する。(手引き3) ・「物語」と「自己」の関係を理解する。(手引き4) <p>【言語】 筆者の主張に対して、論理的に自分の意見を展開し、発表する。</p>	<p>[話] 「自己」と「物語」について、自分の具体例を挙げて話し合っている。<行動の観察></p> <p>—エ</p> <p>[読] 「語り部の男性」の行動に対する筆者の考えを理解している。「語り部」の様子から「物語」と「物語」と「自己」との関係を考察している。<行動の観察/記述の確認/定期考査></p> <p>—イ</p> <p>[知] 基礎的な語句の意味や用法を理解している。<行動の観察/定期考査></p> <p>—オ</p>
2	10	1	4 詩歌 ▼比喻などの詩的な表現への理解を深め、詩歌に込められた作者の心情を味わおう。 ▼さまざまな詩歌に接して多様な表現を深く味わうことで、鑑賞力を高め、自己の感性を豊かにしよう。	竹	<ul style="list-style-type: none"> ・反復法や脚韻を使ったこの詩独特の響きの持つ効果を理解する。(手引き1) ・第一連「地下」と第二連「地上」という、違う情景の表現を理解する。(手引き2) ・作者が竹に込めた思いを理解する。(手引き3) ・萩原朔太郎の近代詩における位置や詩の特徴を理解し、朔太郎の他の詩も読んでみる。 	<p>[読] 第一連、第二連の情景を正確に理解している。また、作者が竹の姿に込めている思いを理解している。<行動の観察/記述の確認/定期考査></p> <p>—イ・ウ</p> <p>[知] 反復法、脚韻といった詩の修辞技巧や言葉の使い方を理解している。<行動の観察/定期考査></p> <p>—オ</p>
		3		永訣の朝	<ul style="list-style-type: none"> ・この詩において東北方言をそのまま使った効果を理解する。(手引き1) ・この詩に詠まれた情景の展開を理解する。(手引き2) ・この詩で語られる妹とし子の気持ちをとし子の東北方言の言葉から理解する。(手引き4) ・この詩に込められた作者の思いを理解する。(手引き3, 5) ・宮澤賢治の近代詩における位置や詩の特徴を理解し、他の詩も読むと同時に童話も読んでみる。 	<p>[話] この詩のテーマと方言を使うなどの表現方法について、自分の考えを的確にまとめて、正確に発信している。<行動の観察></p> <p>—エ</p> <p>[読] 情景の展開を正確に読み取り、作者の妹の死への切実な思いを理解している。<行動の観察/記述の確認/定期考査></p> <p>—イ・ウ</p> <p>[知] 詩における作者の直接的な感情の吐露を理解している。<行動の観察/定期考査></p> <p>—オ</p>

		3		一日の長さ	<ul style="list-style-type: none"> ・第二連のこの詩における効果を理解する。(手引き1) ・第一連の「ぼく」の状況を理解する。(手引き2) ・この詩で「ぼく」が感じた一日の長さ子ども一日の長さの違いを理解する。(手引き 	<p>[読] 第一連から第三連への情景の展開を正確に読み取り、作者の一日の長さに対する思いを理解している。また、こどもの一日との比較を最後の連においた作者の意図も理解している。<行動の観察/記述の確認/定期考査></p> <p style="text-align: right;">ーイ・ウ</p>
					4, 5)	<p>[知] 「弦ばかりの慌しい戯れ」という比喻や「つかのまうっとり 聞いたほかに？」が直接つながる部分などの詩独特の言い回しを理解している。<行動の観察/定期考査></p> <p style="text-align: right;">ーオ</p>
		3		春雷【俳句】	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの俳句の季語を確認し、その俳句に詠まれている季節を理解する。(手引き1) ・それぞれの俳句に詠まれた情景を読み取ると同時に、そこに込められた作者の心情や感動を理解する。また、それをもとにして俳句の鑑賞文を書く。(手引き2, 3) ・体言止め、句切れ、切れ字などの修辞技巧を理解する。 ・それぞれの俳人の文学史における位置を理解する。 	<p>[読] それぞれの俳句に詠まれた情景や作者の思いを理解している。<行動の観察/記述の確認/定期考査></p> <p style="text-align: right;">ーイ・ウ</p> <p>[書] 俳句に詠まれた情景や作者の心情・感動を正確に理解して、鑑賞文を書いている。<記述の確認></p> <p style="text-align: right;">ーエ</p> <p>[知] 俳句における季語、切れ字などの修辞技巧を理解している。また、村上鬼城、尾崎放哉、杉田久女、加藤楸邨、水原秋桜子といった俳人の文学史における位置を理解している。<行動の観察/定期考査></p> <p style="text-align: right;">ーオ</p>
1 1	3	言語活動	4	課題を設定して調べた成果をまとめる	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的かつ調査可能で、興味・関心があるという点に注意して、課題を設定する。 ・本などの活字になったもの、インターネット、訪問・見学などといった調査方法を理解する。 ・調査した情報を整理し、それをまとめて報告書を作成する。 	<p>[書] 調査した情報を効果的に利用して、報告書を作成している。<記述の確認></p> <p style="text-align: right;">ーエ</p> <p>[知] 調査する内容の設定の仕方、調査方法を的確に理解している。<行動の観察/定期考査></p> <p style="text-align: right;">ーオ</p>
	5	5 評論2		言葉は世界を切り分ける	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語でコミュニケーションを取ることの難しさについての、筆者の考えを理解する。(手引き2) ・言葉の「『面』としての意味」について、具体例を通して理解する。(手引き3) ・言葉の働きについて、筆者の主張を踏まえて考えことをまとめる。(手引き5) <p>[言語] 言葉による世界の分割の仕方について、具体例を用いて話し合い、発表する。</p>	<p>[話] 言葉の働きについて、発展的な関心を持っている。ている。<行動の観察/定期考査></p> <p style="text-align: right;">ーエ</p> <p>[書] 文章の主旨を読みとり、それに対する自分の意見をまとめている。<記述の確認></p> <p style="text-align: right;">ーエ</p> <p>[読] 取り上げている事柄を捉え、相対的な表現や論の進め方の工夫に気づいている。<行動の観察/記述の確認/定期考査></p> <p style="text-align: right;">ーイ</p> <p>[知] 各言語の世界の文節の仕方を的確に理解している。<行動の観察/定期考査></p> <p style="text-align: right;">ーオ</p>
1 2	6			もう一つの知性 ◆考える楽しみ ④…困難な時代に	<ul style="list-style-type: none"> ・「情報化社会」、「知性のあり方」の意味を理解している。(手引き1) ・例として挙げられている事項・用語を「情報化」と「知性」に分けられる。(手引き2) ・「血肉になっているような情報」「服のポケットにたくさんの紙片を詰め込んでいるような知性」などの比喻表現を理解する。(手引き3) 	<p>[話] 教材の話題を自分の生活に結びつけて考え、意見を発表している。<行動の観察/定期考査></p> <p style="text-align: right;">ーエ</p> <p>[書] 情報化社会について、考えたことを的確に文章にまとめている。<記述の確認></p> <p style="text-align: right;">ーエ</p> <p>[読] キーワードの分類、比喻表現を理解し、引用例の意味や役割を理解している。<行動の観察</p>

				<ul style="list-style-type: none"> ・トルストイの話の意味を理解する。(手引き4) <p>【言語】「プリコラージュ」的な知の可能性を、自分たちの生活にどう生かせるか、発表する。</p>	<p>／記述の確認／定期考査> ーイ</p> <p>【関】 取り上げられている事柄に関心を持ち、積極的に話し合いに参加している。<行動の観察／定期考査> ーオ</p>
1	7	<p>6 小説 2</p> <p>▼時代背景や虚構性に注意して小説を読んで、そこに描かれた世界を的確に捉えよう。</p> <p>▼小説を読んで感じたこと考えたことを仲間と伝え合うことで理解を深めていく態度を養おう。</p>	<p>鞆</p> <p>◆小説の楽しみ</p> <p>④…不条理と文学</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「私」と「青年」のセリフに注意して、物語の展開を理解する。(手引き1) ・「私」が「青年」と青年の「鞆」に対して持っている疑念を理解する。(手引き2) ・「青年」にとっての「鞆」はどのようなものかを理解する。(手引き3) ・行く道を束縛されながらも自由だという真理を理解する。(手引き4, 5) <p>【言語】 この小説の暗示性とストーリーのおもしろさを読み取り、それを紹介する文章を書く。</p>	<p>【読】 セリフの発言者を確認して、物語の展開を正確に理解する。また、作者がこの小説で語りたかった「束縛」と「自由」ということを理解する。<行動の観察／記述の確認／定期考査> ーイ・ウ</p> <p>【書】 この小説の内容を的確に捉え、その紹介文を工夫して書いている。<記述の確認> ーエ</p> <p>【知】 現代小説の超現実主義の作品を理解している。また、奇抜な着想や象徴的かつ暗示的な表現の仕方も理解している。<行動の観察／定期考査> ーオ</p> <p>【話】 この小説の感想を的確にまとめて、正確に発信している。<行動の観察／定期考査> ーエ</p> <p>【書】 この小説の感想を、論理的に文章にまとめることができている。<記述の確認> ーエ</p> <p>【読】 物語の展開を正確に捉え、「私」の心理と妹の心理を理解する。<行動の観察／記述の確認／定期考査> ーイ・ウ</p>
2	7	<p>8 小説 3</p> <p>▼多様な表現方法を用いて書かれた近代小説の世界を味わおう。</p>	<p>葉桜と魔笛</p> <p>◆小説の楽しみ</p> <p>④…不条理と文学</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「突然わあっ！ と大声が出て、立っておられずぺたん草原に座って、思い切って泣いてしまいました。」とあるが、この時、「私」はどのような状態にあったと考えられるかを理解する。(手引き2) ・「私」がM・Tからの手紙を読み、妹に手紙を書くまでの心の動きを整理する。(手引き3) ・なぜ「妹」はM・Tの名で自分に手紙を出したのか理解する。(手引き4) ・この小説を読んで「葉桜と魔笛」という題名から感じたことを話し合っ、小説の結論を理解する。(手引き5) <p>【言語】 近代の日本人の信仰心について考えられることを、小説のできごとを参考にしながら、800字程度の文章にまとめる。</p>	<p>【話】 近代の小説の背景に関心を持ち、調べることでその当時の人物の考えを的確にまとめ、正確に理解している。<行動の観察／定期考査> ーエ</p> <p>【書】 「私」の行動を追うことで、妹や「私」の考え方に沿ってそれぞれの行動の意味を考え、それを文章にまとめている。<記述の確認> ーエ</p> <p>【読】 「私」を通して妹自身の思いを理解し、作者の意図を理解する。<行動の観察／記述の確認／定期考査> ーイ</p> <p>【知】 「日本海大海戦」「バルチック艦隊」などの歴史的な言葉、「十万億土」などの宗教的な言葉の意味を的確に理解している。また、「国際化」などの現代を考える上での重要なキーワードも理解している。<行動の観察> ーオ</p>
	5	<p>7 評論 3</p> <p>▼筆者の述べる人間や社会についての的確に理解し、評論の読み方を習得しよう。</p>	<p>ホンモノのおカネの作り方</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「ニセガネとは『似せ』ガネなのである。」と筆者が言う意味を理解する。(手引き1) ・「預かり手形」が本物のお金と同等に扱われるようになる過程と理由を理解する。(手引き2) ・「ニセガネ」と「預かり手形」の違いを理解する。(手引き3, 4) 	<p>【話】 教材の話題を自分の生活に結びつけて考え、意見を発表している。<行動の観察／定期考査> ーエ</p> <p>【書】 幕末の時代について、考えたことを的確に文章にまとめている。<記述の確認> ーエ</p> <p>【読】 キーワードの分類、比喩表現を理解し、引用例の意味や役割を理解している。<行動の観察／記述の確認／定期考査> ーイ</p>

			▼現代社会と人間との関わりについて理解を深め、自らの考えをまとめ、的確に表現する力を養おう。		<ul style="list-style-type: none"> ・お金の本来の意味と「預かり手形」が現代の経済の仕組みにつながる過程を理解する。(手引き5) <p>【言語】 現代の経済の仕組みについて、他教科で学んだことや調べたことをもとにして話し合う。</p>	<p>【関】 取り上げられている事柄に関心を持ち、積極的に話し合いに参加している。<行動の観察/定期考査></p> <p style="text-align: right;">ーオ</p>
1	7	<p>鞆</p> <p>◆小説の楽しみ</p> <p>④…不条理と文学</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・「私」と「青年」のセリフに注意して、物語の展開を理解する。(手引き1) ・「私」が「青年」と青年の「鞆」に対して持っている疑念を理解する。(手引き2) ・「青年」にとっての「鞆」はどのようなものかを理解する。(手引き3) ・行く道を束縛されながらも自由だという真理を理解する。(手引き4, 5) <p>【言語】 この小説の暗示性とストーリーのおもしろさを読み取り、それを紹介する文章を書く。</p>	<p>【読】 セリフの発言者を確認して、物語の展開を正確に理解する。また、作者がこの小説で語りたかった「束縛」と「自由」ということを理解する。<行動の観察/記述の確認/定期考査></p> <p style="text-align: right;">ーイ・ウ</p> <p>【書】 この小説の内容を的確に捉え、その紹介文を工夫して書いている。<記述の確認></p> <p style="text-align: right;">ーエ</p> <p>【話】 この小説の感想を的確にまとめて、正確に発信している。<行動の観察/定期考査>ーエ</p> <p>【書】 この小説の感想を、論理的に文章にまとめることができている。<記述の確認></p> <p style="text-align: right;">ーエ</p>	

令和5年度 国語 教養国語シラバス

沖縄県立真和志高等学校

科目	単位数	指導学年	使用教科書
教養国語	2単位(2単位×35週=70時間)	3学年(みらい福祉科・自由選択)	大修館書店『国語表現 改訂版』基礎練習ノート
科目の目標	国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。		生徒の実態と指導の重点
			就職や進学など進路希望もさまざまであり、漢字力や読解力などにもばらつきがある。文章の書き方や読解力の向上など、目的意識を持って取り組む生徒もいるが、そうでない生徒もおり、互いに教え合い、高め合う雰囲気醸成したい。

学期	月	教科書単元名	教科書教材名	領域(時間)			主な学習の目標 (評価規準)	評価の観点					評価方法等
				A (話すこと・聞くこと)	B (書くこと)	C (読むこと)		関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解	
前	4月	1 書いて伝える	1 整った文を書く	6	2	・表記に注意し、誤字や脱字、文法的な間違いに気をつけて書くことの大切さを理解する。 ・場所や相手に応じた適切な言葉遣いについて学び、敬語の使い方を理解する。	○	◎	◎				・ワークノート ・定期テスト
			2 わかりやすい文を書く			・長すぎる文を避け、わかりやすい文にする方法を理解する。 ・読点を適切に打ち、あいまいな文を避けることの大切さを理解する。	○	◎	◎			・ワークノート ・定期テスト	
			3 文のつながり			・接続表現の種類と働きを理解する。 ・文脈による文のつながりを理解する。	○	◎	◎			・ワークノート ・定期テスト	
			4 絵や写真を見て書く			・図や写真を見て文章を書き、相手に伝わる文章を書くために必要なことを理解する。 ・相手に伝えることを意識してわかりやすい文章を書く。	○	◎	○			・ワークノート ・定期テスト	
			実践トレーニング(1)			・単元1の学習内容を確認し、知識を定着させる。 ・原稿用紙(縦書き・横書き)の使い方を確認する。		◎	○	◎		・ワークノート ・定期テスト	
	5月	3 自己PRと面接	1 自分を見つめて	1		・経験から得たことや学んだこと、自分の長所などを考える。 ・他者の意見を聞いて、自分の長所を見つける。	○	○	○				・観察 ・相互評価、自己評価
			2 効果的な自己PR	2		・自分の特長を端的に表現した、印象に残るキャッチフレーズを作る。 ・事実やできごとをふまえて、効果的な自己PRをする	○	○	◎				・観察 ・ワークノート ・作品 ・発表 ・相互評価、自己評価
			3 将来の自分を考えよう	1		・就きたい職業に就くために必要なことを調べる。 ・調べたことをふまえて、「将来の自分」について文章にまとめる。	○	◎	◎	○	○		・観察 ・ワークノート ・作品 ・相互評価、自己評価
			4 志望動機をまとめよう	2		・志望先について十分な情報を集める。 ・調べたこと、やりたいこと、自己PRの三つを結びつけ、説得力のある志望動機を書く。	○	○	◎	○	○		・観察 ・ワークシート ・作品 ・発表 ・相互評価、自己評価
	6月	3 自己PRと面接	1 相手や場面に応じた会話	2		・場面によさげな言葉遣いを考える。 ・適切な言葉遣いでロールプレイをする。	○	◎					・観察 ・ワークノート ・相互評価、自己評価
5 面接にチャレンジ			4		・適切な言葉遣いや態度で面接の受け答えをする。 ・質問に対して、具体的に説得力のある答え方をする。	○	◎					・観察 ・相互評価、自己評価	
実践トレーニング(2)			1		・表記や係り受けなど、文を書くこと上の基礎を押さえられているか確認する。 ・具体的なシーンを想定し、場面にあった言葉遣いや態度を確認する。		◎	◎	○	○		・ワークノート ・小テスト ・定期テスト	
4 メディアを駆使する			2 電話を使いこなす	1		・初対面や目上の相手に対する電話での話し方を理解する。 ・相手に応じた適切な言葉遣いや対応のしかたを理解する	○	◎			◎		・観察 ・ワークシート ・相互評価、自己評価 ・小テスト
7月	4 メディアを駆使する	3 ネット社会とコミュニケーション	2		・さまざまなコミュニケーションツールについて、その特徴や使うときの留意点を理解する。 ・電子メールの正しい使い方を知り、活用する上でのエチケットを理解する	○		○				・ワークノート ・相互評価、自己評価	
		4 メディアと情報	2		・さまざまなメディアの特徴を理解し、情報を吟味しながら活用する姿勢を身につける。 ・メディアから情報を得る際に気をつけることについて理解し、メディアごとの取り上げ方の違いを理解する。	○			◎	◎		・ワークノート ・相互評価、自己評価	
		1 小論文とは何か	2		・小論文の基本的な書き方を理解する。 ・意見を筋道を立てて書く。 ・原稿用紙の使い方や推敲の観点を理解する。	○		◎		◎		・ワークノート ・作品 ・小テスト ・定期テスト	
		2 小論文・レポート入門	4		・自分の意見とは対立する意見を考慮しながら書くことの意味を理解する。 ・反論を想定して書く構成を理解し、それに沿って小論文を書く。	○		◎		◎		・ワークノート ・作品 ・小テスト ・定期テスト	
後	10月	5 声とコミュニケーション	3 ショートスピーチをしよう	2	2	・話したい内容の順序を考えて、わかりやすいショートスピーチをする。 ・聞き手に伝わりやすい話し方でスピーチをする。 ・話し手が話しやすい聞き方をする。	○	◎				・観察 ・ワークノート ・相互評価、自己評価	
			(第2部)表現を楽しむ	12 開廷！模擬裁判	4	2	・模擬裁判において、根拠をふまえて自分の意見を述べたり、議論を重ねて結論を導いたりする。	○	◎		◎	◎	・観察 ・ワークノート ・相互評価、自己評価
	11月	(第2部)表現を楽しむ	10 演説合戦にチャレンジ	6		・賛成か反対かを明確にし、聞き手を説得できるように、筋道を立てて話す。 ・意見の根拠に注意し、説得力があるかどうかを考えながら聞く。	○	◎	○	○	○	・観察 ・ワークノート ・相互評価、自己評価	
			11 こちら悩みごと相談室	4	1	・悩みごと相談に対する回答を、相手の立場を想像して適切に書く。	○		◎	◎	○		・観察 ・ワークノート
	12月	(第2部)表現を楽しむ	1 言葉で遊ぶ	4		・さまざまな言葉遊びを知り、おもしろさを味わうことを通して、言語文化に対する理解を深める。 ・言葉遊びの仕組みやおもしろさを理解し、オリジナルの作品を作る。	○	○	◎	○	◎	・観察 ・ワークノート ・作品 ・相互評価、自己評価	
			2 詩歌を楽しむ	4	1	・さまざまな詩歌を読み、味わうことを通して、言語文化に対する理解を深める。 ・さまざまな詩歌の鑑賞をふまえて、表現を工夫しながら詩を創作する。	○	○	◎	◎	○	・観察 ・ワークノート ・作品 ・相互評価、自己評価	
	1月	(第2部)表現を楽しむ	4 「わが町自慢」のパンフレット作り	8		・情報を適切に編集し、読み手を引きつけるような効果的なパンフレットを作る。	○	○	◎	◎	○	・観察 ・ワークノート ・作品 ・相互評価、自己評価	
			小計	24	38	8							
			合計			70							

令和5年度 国語 『現代文A』 シラバス

講座名	現代文A	学年	2・3年
単位数	2単位	留意点	国語総合履修後の選択科目である。日本の近現代文学史に主要な作品として掲載のある小説を中心に、日本人としての文学的教養を高め、読解力を養う学習をする。
選択・必修	選択		
教科書	新編 現代文A (第一学習社)		
副教材等	なし		

◎科目の目標

国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。

◎授業計画 現代文編

	単元・教材名	学習内容	留意点
前期	4 新しい発見 なぜコロンブスの卵を書くのか(福田哲夫) 新しい地球観(毛利衛)	○文章の流れをつかみ、基礎的な読解方法を身につける。 ○筆者の論理的思考を学び、筆者の主張を理解する。 ○扱われている問題を自身に引き寄せて読解し、自らの視野を広げる。	
	5 小説を読む(一) 調律師のるみ子さん(いしいしんじ) デューク(江國香織)	○小説読解の基本を確認し、短編小説の世界を觀賞する。 ○作品世界の読解を踏まえ、小説の内容を批評できるようにする。	
	6 言葉と文化 数え方で磨く日本語(飯田朝子) 犬も歩けば棒に当たる(阿刀田高)	○筆者の主張・考え方を適切に読み取る力をつける。 ○言葉の背景にある文化や思考について、深く考えていく態度を養う。	
	7 詩を味わう 汚れちまった悲しみに… (中原中也) 生命は(吉野弘) 永訣の朝(宮沢賢治)	○近代詩・現代詩に親しむ。 ○近代詩/現代詩の觀賞の仕方を学ぶ。 ○近代詩/現代詩の技法について学ぶ。 ○想像力を豊かにし、言葉に対する感性を磨く。	
	9 小説(二) 相棒(内海隆一郎) ナイン(井上ひさし)	○小説を読み味わうおもしろさを体験し、短編小説を深く読み込む方法を身につける。 ○作品のテーマを捉え、自身の問題として考える姿勢を養う。	
後期	10 人間と文化 花女房(河合隼雄) コミュニケーションの文化 (平田オリザ)	○論の展開に即して、文章を正確に読解する力を身につける。 ○文章の学習を通じて、身近な文化について考察する力を身につける。	
	11 小説を読む(三) 鼻(芥川龍之介)	○近代の小説を読解・觀賞する力を身につける。 ○小説表現の豊かさを学び、以後の読書生活に反映させる。	
	12 こころ(夏目漱石)	○小説世界を自身に引きつけて考える態度を養う。	
	12 ～ 人生の風景 出島のチューリップ(吉田直哉) ワスレナグサ(星野道夫)	○随想的な文章の表現上の特徴を学ぶ ○作品の内容を正しく理解し、それぞれの人生の〈風景〉を想像する。	
	1 小説を読む(四) ～ ひよこの眼(山田詠美) 2 卒業(魚住直子)	○小説を読む面白さを味わい、感想と分析の仕方を学ぶ。 ○「働くこと」や「生死」、「他者」との関わりから、自己を見つめ直す契機とする。	
	2 ～ 社会と文化 クマを変えてしまう人間(千松信也)	○文章の論理構造を把握し、筆者の主張を正確に読み取る。 ○文章で扱われている問題を自身に引きつけて考え、現代の社会や文化について考える契機とする。	
	3 ～ 大量生産の眩暈(原研哉)		
	3 小説を読む(五) いろはに、こんぺいどう(原田ハマ)	○小説のより深い觀賞と読解の力を身につける。 ○自身とは異なる境遇にいる語り手の心情を捉える読書好意を通じて、他人の気持ちに寄り添い想像する力を養う。	

◎評価の方法

- ・授業では、教材ごとに漢字の小テストを実施する予定である。
- ・教材ごとに学習課題プリントを解かせ、理解できているか評価する予定である。
- ・評価は、定期考査や小テスト（知識・理解）を中心に、出席状況や授業への取り組み状況（関心・意欲・態度）、発言や提言（思考・判断）などを総合的に判断して行う。
- ・定期考査は、前期は中間考査と期末考査を、後期は期末考査をそれぞれ百点満点で行う。
- ・長期休暇の際には、それぞれ漢字の課題を課す予定である。
- ・なお、年間授業時間数の1/3以上を欠席すると、単位を認定しないので注意すること。

令和5年度「標準国語」（2年次自由選択）シラバス
旧課程

前期 4月～9月
後期 10月～3月

教材・対象・目標等	『これからの国語シリーズ漢字検定5～2級+短文書写実践文字力トリプルチェック』尚文出版		対象：2年次選択
	教科の目標	最も基本的な漢字学習を通し、日常生活や各種試験にも役立つ知識を身につける。	

期	月	学習内容	評価の観点	配当時間	
前	4	目標説明、学習用具の準備、自己紹介	(書く能力・読む能力・知識・理解)	1	
		5級①～⑩ 短作文	課題テキストの提出	5	
	5	5級確認テスト	小テスト・確認テスト	1	
		4級①～⑰	課題テキストの提出	8	
	6	4級確認テスト	課題テキストの提出	1	
		3級①～⑮	小テスト・確認テスト	8	
		3級確認テスト 短作文	課題テキストの提出	1	
			漢字検定		
	7	漢字検定振り返り	課題テキストの提出	2	
		文章練習基礎	課題テキストの提出	2	
文章作成練習		課題テキストの提出	2		
9	準2級①～⑰	課題テキストの提出	8		
後	10	漢字検定模擬練習・短作文	課題テキストの提出	8	
		漢字検定			
	11	熟語の確認、練習	小テスト・確認テスト	4	
		対義語の確認	課題テキストの提出	2	
		類義語の確認	課題テキストの提出	2	
	12	2級①～⑩	課題テキストの提出	5	
		2級模擬試験①②・短作文	小テスト・確認テスト	2	
	1	筆順の原則、熟語の構成、送り仮名の付	課題テキストの提出	3	
		部首、書き間違いやすい漢字、対義語、類義	課題テキストの提出	4	
		漢字検定			
	2	確認テスト①（部首～類義語）	小テスト・確認テスト	1	
		同音異字・同訓異字	課題テキストの提出	3	
		四字熟語、故事成語・慣用句、誤字訂正	課題テキストの提出	3	
3	難読語	課題テキストの提出	1		
	常用漢字表「付表」・短作文		1		

評価の方法

- (1) 小テスト
級ごとに確認テストを行い、評価点に加味する。
- (2) 提出物
毎時間学習した内容を提出させ、評価点に加味する。
- (3) 定期考査

100点満点で行い、評価点に加味する。

令和5年度「標準国語」（2年次自由選択）シラバス

前期 4月 ～ 9月
後期 10月 ～ 3月

教材・対象・目標等	『これからの国語シリーズ漢字検定5～2級+短文書写実践文字力トリプルチェック』尚文出版	対象：2年次選択
	教科の目標：	最も基本的な漢字学習を通し、日常生活や各種試験にも役立つ知識を身につける。

期	月	学 習 内 容	評価の観点	配当時間
前	4	目標説明、学習用具の準備、自己紹介	(書く能力・読む能力・知識・理解)	1
		5級①～⑩	課題テキストの提出	5
	5	5級確認テスト	小テスト・確認テスト	1
		4級①～⑰	課題テキストの提出	8
	6	4級確認テスト	課題テキストの提出	1
		3級①～⑮	小テスト・確認テスト	8
		3級確認テスト	課題テキストの提出	1
		漢字検定		
	7	漢字検定振り返り	課題テキストの提出	2
		文章練習基礎	課題テキストの提出	2
文章作成練習		課題テキストの提出	2	
9	準2級①～⑰	課題テキストの提出	8	
後	10	漢字検定模擬練習	課題テキストの提出	8
		漢字検定		
	11	熟語の確認、練習	小テスト・確認テスト	4
		対義語の確認	課題テキストの提出	2
		類義語の確認	課題テキストの提出	2
	12	2級①～⑩	課題テキストの提出	5
		2級模擬試験①②	小テスト・確認テスト	2
	1	筆順の原則、熟語の構成、送り仮名の付	課題テキストの提出	3
		部首、書き間違いやすい漢字、対義語、類義	課題テキストの提出	4
		漢字検定		
	2	確認テスト①（部首～類義語）	小テスト・確認テスト	1
		同音異字・同訓異字	課題テキストの提出	3
		四字熟語、故事成語・慣用句、誤字訂正	課題テキストの提出	3
	3	難読語	課題テキストの提出	1
		常用漢字表「付表」		1

評価の方法

評価は、定期考査や小テスト（知識及び技能・思考力・判断力表現力）、提出物、出席状況や授業への取り組み状況（学びに向かう力、人間性等）、発言や提言（思考力・判断力・表現等）などを総合的に判断して行う。

令和5年度 国語 「国語表現」 シラバス

科目名	国語表現	学年	第3学年
単位数	4単位	留意点	表現学習の全家庭をとらえて、コミュニケーションの総合的な力を身につける。
選択・必修	選択		
教科書	国語表現(東京書籍)		

○教科の目標

国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。

○授業計画

	月	教材・単元名	学習内容	配当時間
前	4 5	4まとめる 情報を整理して文章にまとめる 10意見文を書く構成を考える	○「励ます言葉・受け入れる言葉」について振り返り、短い文章を書くことで、書くことの基本を身につける。 ○自己の体験をもとに、どのように表現すれば伝わるかを理解する。 ○投書記事を読んで、自分の意見をまとめる。文章の型を理解して書く力を身につける。 ○自己の意見をしっかりと伝え、他者の理解や共感を得ることができる文章力を身につける。	22
	6	1調べる 情報収集の技術 *新聞のコラムの視写をして感想をまとめる。(年間を通して視写に取り組んでみる)	○本、新聞、インターネット等を使い、話題になっていることを調べる。情報について自分の考えをまとめる文章力を身につける。 ○「書くこと」の中でももっとも基礎的な「視写」「聴者」を行い、自己の表現能力の実体を把握する。	20
期	7	4まとめる 情報を整理して文章にまとめる 3説明する *履歴書・志望理由書を書く	○目的に応じた文章を適切に書ける力を身につける。 ○正確に記録すること、きちんと説明することができる能力を身につける。 ○情報をグループ分けし、適切な順番で書く力を身につける。	14

後 期	9 10	7 話す メモを元にした スピーチ 8 発表する 情報を整理して口頭 で伝える	○構成メモをもとにしてスピーチを組み立てる手順を学ぶ。 ○評価表を作成し、話し手としての態度、聞き手としての態度を養う。相互評価を丁寧に行うことを意識する。 ○説得力を高める発表の工夫と言う観点で発表の方法を学ぶ。 ○面接を意識して、伝わる発表の仕方を工夫する。	28
	11 12	11 小論文を書く 「考え方」を考える	○論文作成の手順と方法を学び、発展的な論理的文章力を育成する。 ○論文作成の手順を知り、執筆以前の過程を具体的に理解する。 ○小論文の構成のしかた、組み立てを学ぶとともに、実際に小論文を書くことによって総合的な文章力・表現力を身につける。 ○引用のルールやマナーについて理解し、注や参考文献などの論文執筆時に必要な事項について習熟する。	30
	1 2	*新聞の社説を学ぶ 社説の視写、構成の 理解、内容と感想、 好きな社説の発表	○論理的な文章作成の最後の段階として、新聞の社説を教材に、文章構成や内容の分析を行う。 ○社説の結論の導き方や見出しのつけ方などを取り上げ、自分の文章を作成するときの客観的な視点を養い、自らの表現力向上に生かす。	16

○評価方法

- 1 評価は、定期考査や小テスト(知識・理解)を中心に、出席状況や授業への取り組み状況(関心・意欲・態度)、発言や提言(思考・判断)などを総合的に判断して行う。
- 2 定期考査は、前期・後期ともに中間考査と期末考査をそれぞれ百点満点で行う。
- 3 小テストは、漢字・語句に関するものや、学習内容に関連したものを実施する予定である。小テストの得点は定期考査の結果に加算する。
- 4 年間授業時数の1/3以上を欠席すると単位を認定できないことを注意する。

令和4年度 国語 発展国語 シラバス

使用教科書	尚文出版 国語必携ライトパーフェクト演習
単位数	2単位
対象	3年次選択

目標: 演習を通して就職や進学に役立つ国語の力を身につける。

評価: ①出欠状況10%、学習への主体的態度、姿勢10%を評価する。
提出物30%、中間・期末テスト50%を評価する。

②小テスト、確認テストを行い、評価点に加味する。

③毎時間学習した内容を提出させ、日常点に加味する。

④評価の5観点「関心・意欲・態度」「話す・聞く能力」「書く能力」「読む能力」「知識・理解」のうち発展国語の授業においては「書く能力」「読む能力」「知識・理解」の観点に重点を置き、授業を行う。

学期	月	時間	学習内容	学習のねらい	評価の方法
前	4	6	①基本的な漢字②表現③慣用表現④語彙	基礎的な漢字の読みや書きを身につける。	毎時のワーク提出、小テスト、授業態度などで評価する。
	5	8	①基本的な漢字②表現③慣用表現④語彙	日常生活の中で使われる慣用句について学ぶ。	毎時のワーク提出、小テスト、授業態度などで評価する。
	6	8	①身につけておきたい漢字②慣用表現③表現④語彙	日常生活の中で使われることわざや外来語について学ぶ。	毎時のワーク提出、小テスト、授業態度などで評価する。
	7	6	①身につけておきたい漢字②慣用表現③表現④語彙	新聞等によく使われる難読語について学ぶ。	毎時のワーク提出、小テスト、授業態度などで評価する。
期	8	2	①漢字②語彙	前期前半の復習をする。	小テストなどで評価する。
	9	3	①漢字②表現③慣用表現④語彙	現代社会の問題を理解するための用語について学ぶ。	毎時のワーク提出、小テスト、授業態度などで評価する。
		3	日本文学史	日本文学について学ぶ。	毎時のワーク提出、小テスト、授業態度などで評価する。
後	10	6	①覚えておきたい漢字②慣用表現③表現④語彙⑤文章題⑥敬語	表現技法について学び、就職試験や大学受験に役立つ力を身につける。	毎時のワーク提出、小テスト、授業態度などで評価する。
	11	8	①覚えておきたい漢字②慣用表現③表現④語彙⑤文章題⑥敬語	就職試験や大学受験に役立つ力を身につける。	毎時のワーク提出、小テスト、授業態度などで評価する。
	12	6	①覚えておきたい漢字②慣用表現③表現④語彙⑤文章題⑥敬語	近代文学史の作者や作品について学び、文学史についての知識を深める。	毎時のワーク提出、小テスト、授業態度などで評価する。
	1	6	試験対策 SPI	就職試験や大学受験に役立つ力を身につける。	毎時のワーク提出、小テスト、授業態度などで評価する。
	2	6	試験対策 公務員試験	公務員試験に役立つ力を身につける。	毎時のワーク提出、小テスト、授業態度などで評価する。
	期	3	2	さまざまな文章を書く	敬語の使い方を学び生活の中で生かせるようにする。

評価の方法

・評価は定期考査や小テストを中心に、出席状況や授業への取り組み状況(関心・意欲・態度)、発言や提言(思考・判断)などを総合的に判断して行う。

・定期考査は、前期・後期ともに中間考査と期末考査をそれぞれ百点満点で行う。

・小テストは、学習内容に関連したものを実施する予定である。小テストの得点は定期考査の結果に加算する。

・なお、年間授業時間数の2/3以上の出席で、単位を認定するので注意すること。

9	4	名作を読む	山月記	6	【知・技】 ②ア 【思・判・表】 B(1)ウ	・登場人物の生き方から、自分自身の生き方に関する考えを深める。 ・漢文訓読調の文章の魅力を楽しむ。	【知識・技能】 ・文学的な文章を読むことを通じて、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。【(2)ア】 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、他の作品と比較するなどして、文体の特徴や効果について考察している。【B(1)ウ】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、小説の文体や登場人物の心情について理解を深めようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト
		古典の世界2	かぐや姫の昇天	2	【知・技】 ②ア 【思・判・表】 B(1)ア	・かぐや姫の心情とその変化を読み取る。	【知識・技能】 ・文学的な文章を読むことを通じて、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。【(2)ア】 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。【B(1)ア】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、登場人物の心情を読み取ろうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト
			月やあらぬ	2	【知・技】 ②ア 【思・判・表】 B(1)ア	・男が月を見て感じた心情を読み取る。	【知識・技能】 ・文学的な文章を読むことを通じて、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。【(2)ア】 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。【B(1)ア】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、登場人物の心情を読み取ろうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト
10	5	社会に生きる	神去なあなあ日常	3	【知・技】 ②イ 【思・判・表】 B(1)イ	・登場人物の描写から人物像をとらえ、場面ごとの心情を読み取る。 ・仕事や自然に対する描写を読み取り、もの見方、感じ方を豊かにする。	【知識・技能】 ・人間、社会、自然などに対するもの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。【(2)イ】 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。【B(1)イ】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品の特徴ある表現に興味をもち、仕事や自然に対する描写を読み取ろうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト
			籠	3	【知・技】 ②イ 【思・判・表】 B(1)エ	・小説を読む楽しさを味わう。 ・この話に込められた寓意を読み取り、考えを深める。	【知識・技能】 ・人間、社会、自然などに対するもの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。【(2)イ】 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。【B(1)エ】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、この話に込められた寓意を読み取ろうとしたり考えを深めたりしようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト
			その日東京駅五時二十五分発	3	【知・技】 ②イ 【思・判・表】 B(1)オ	・心情や情景描写に注意して読む。 ・「ぼく」が戦争についてどのように感じ、考えているかを読み取る。	【知識・技能】 ・人間、社会、自然などに対するもの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。【(2)イ】 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、作品に現れているもの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めている。【B(1)オ】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味を持ち、登場人物の心情を理解したり作品の背景について考えを深めたりしようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト
11	6	表現を味わう	身内ほど厄介なものはない	3	【知・技】 (1)ア 【思・判・表】 B(1)ア B(1)カ	・さまざまな文章を読み、構成や表現の工夫を読み取る。	【知識・技能】 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。【(1)ア】 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。【B(1)ア】 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するもの見方、感じ方、考え方を深めている。【B(1)カ】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・進んで本文の内容を解釈し、自分とは異なる文化をもつ人とコミュニケーションをとるにあたり、どのような配慮が必要か考えようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト
			柿	3	【知・技】 (1)ウ 【思・判・表】 B(1)イ	・さまざまな文章を読み、構成や表現の工夫を読み取る。	【知識・技能】 ・文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。【(1)ウ】 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。【B(1)イ】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・進んで本文の内容を解釈し、文章の構成や表現の工夫について考えながら読み味わおうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト
			ぼくのお母さん	3	【知・技】 (1)ウ 【思・判・表】 B(1)イ	・さまざまな文章を読み、構成や表現の工夫を読み取る。	【知識・技能】 ・文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。【(1)ウ】 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。【B(1)イ】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・進んで本文の内容を解釈し、文章の構成や表現の工夫について考えながら読み味わおうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト
後期 1			【書く】思いを言葉に ①エッセイを書こう	3	【知・技】 (1)ウ 【思・判・表】 A(1)イ	・不特定の読み手を想定し、自分の思いを表現したエッセイを書く。 ・既存の作品も参考にしながら、構成や表現を工夫して書く。	【知識・技能】 ・文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。【(1)ウ】 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、読み手の関心が得られるよう、文章の構成や展開を工夫している。【A(1)イ】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・読み手を想定して、相手に応じた内容や構成、表現を工夫しながら書こうとしている。	・観察 ・ワークシート ・提出作品
			【書く】思いを言葉に ②手紙を書こう	3	【知・技】 (1)ウ 【思・判・表】 A(1)イ	・特定の読み手を想定し、手紙の形式で言葉を書き。 ・読み手と自分の関係に注意して、相手に応じた内容や表現を工夫して書く。	【知識・技能】 ・文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。【(1)ウ】 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、読み手の関心が得られるよう、文章の構成や展開を工夫している。【A(1)イ】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・読み手を想定して、相手に応じた内容や構成、表現を工夫しながら書こうとしている。	・観察 ・ワークシート ・提出作品
2		古典の世界3	はしたなきもの	1	【知・技】 ②ア 【思・判・表】 B(1)ア	・作品に表れている作者の感性をとらえる。	【知識・技能】 ・文学的な文章を読むことを通じて、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。【(2)ア】 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。【B(1)ア】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、自分と比較しながら作者の感性を捉えようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト
			手のわるき人の	1	【知・技】 ②ア 【思・判・表】 B(1)ア	・作品に表れている作者の考え方をとらえる。	【知識・技能】 ・文学的な文章を読むことを通じて、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。【(2)ア】 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。【B(1)ア】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、自分と比較しながら作者の感性を捉えようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト
			行く河の流れ	2	【知・技】 ②ア 【思・判・表】 B(1)ア	・作品に表れている作者の考え方をとらえる。	【知識・技能】 ・文学的な文章を読むことを通じて、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。【(2)ア】 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。【B(1)ア】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、自分の身の回りのできごとと比較しながら作者の考え方を捉えようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト

3	読書の広場	さくら日和	2	【知・技】 ②イ 【思・判・表】 B(1)ア	・読書に興味をもち、積極的に読書に取り組む。 ・作品の構造や語り手の視点を意識しながら、作品を味わう。	【知識・技能】 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。〔2)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。〔B(1)ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・読書に興味をもち、作品の構造や語り手の視点を意識しながら作品を味わおうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト
		鉄道員	2	【知・技】 ②イ 【思・判・表】 B(1)ア	・読書に興味をもち、積極的に読書に取り組む。 ・登場人物の人間関係や心情、印象的な言葉や表現などを意識しながら、作品を味わう。	【知識・技能】 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。〔2)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。〔B(1)ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・読書に興味をもち、登場人物の人間関係や心情などを意識しながら作品を味わおうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト
	恋のうた	現代の恋 近代の恋 古典の恋	3	【知・技】 (1)ウ (2)ア 【思・判・表】 B(1)オ	・それぞれの作品に描かれている情景や心情を読み取る。 ・詩歌の形式や表現の特徴について理解を深める。	【知識・技能】 ・文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。〔(1)ウ〕 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。〔2)ア〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えたとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めている。〔B(1)オ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・詩歌を読むことに興味をもち、それらの形式や表現の特徴を踏まえながらそれぞれの作品に描かれている情景や心情を読み取るようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト

計 70

●評価方法

- 1 評価は、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の三観点で行う。
- 2 定期考査は前・後期とも中間考査と期末考査を行う。
- 3 年間授業時数の1/3以上を欠席すると単位を認定できないことを注意する。

令和5年度 真和志高等学校 国語「国語入門」 シラバス

授業名	国語入門
単位数	2単位
選択・必修	選択履修
教科書・副読本	カラー版『新国語便覧』第一学習社、国語便覧ワークノート、各種資料

目標

語彙を中心とした基礎知識の定着を図ることを通して、高校国語の内容を理解するために必要な資質能力を、次のとおり育成することを目指す。

- (1) 中学校までに学ぶ常用漢字の知識を定着させることで、日常生活に必要な文章を読む力を身に着けるようにする。
- (2) 分かりやすい文章の特徴を知ることを通して、自分の思いや考えを広げたり深めたりできるようにする。
- (3) 言葉が持つ働きに対して理解を深めることを通して、他者や社会に関わろうとする態度を養う。

評価

- ・評価は、定期考査や小テスト（知識及び技能）、提出物、出席状況や授業への取り組み状況（学びに向かう力、人間性等）、発言や提言（思考力、判断力、表現力等）などを総合的に判断して行う。
- ・定期考査は、前期・後期ともに中間考査と期末考査をそれぞれ百点満点で行う。
- ・小テストは、漢字・語句に関するものや、学習内容に関連したものを実施する予定である。
- ・なお、年間授業時間数の1/3以上を欠席すると、単位を認定しないので注意すること。

学期	月	指導内容	配当時間	評価の観点
前期	4	漢字の構成 同音異義語他 原稿用紙の使い方	6時間	豆テスト及びワークプリント、テスト、授業態度などで指導内容の確認
	5	同音異義語、同訓異義語他 文章表現の基本（文の乱れに注意する）	6時間	豆テスト及びワークプリント、テスト、授業態度などで指導内容の確認
	6	同音異義語、同訓異義語他 文章表現の基本（文を短くする）	8時間	豆テスト及びワークプリント、テスト、授業態度などで指導内容の確認
	7	四字熟語、対義語、動植物 文章表現の基本（文体を意識する）	6時間	豆テスト及びワークプリント、テスト、授業態度などで指導内容の確認
	9	四字熟語、対義語、動植物 文章表現の基本（接続詞を意識する）	6時間	豆テスト及びワークプリント、テスト、授業態度などで指導内容の確認
後期	10	四字熟語、対義語、動植物 要約問題に挑戦	6時間	豆テスト及びワークプリント、テスト、授業態度などで指導内容の確認
	11	慣用句、ことわざ 要約問題に挑戦	8時間	豆テスト及びワークプリント、テスト、授業態度などで指導内容の確認
	12	慣用句、ことわざ テーマに沿った文章を書く。	6時間	豆テスト及びワークプリント、テスト、授業態度などで指導内容の確認
	1	敬語、現代文重要語彙他 テーマに沿った文章を書く。	6時間	豆テスト及びワークプリント、テスト、授業態度などで指導内容の確認
	2	古文重要単語 手紙の書き方	6時間	豆テスト及びワークプリント、テスト、授業態度などで指導内容の確認
	3	文語文法 口語文法	6時間	豆テスト及びワークプリント、テスト、授業態度などで指導内容の確認

令和5年度 国語「古典A」 シラバス

講座名	古典A	学年	第3学年
単位数	2単位	留意点	卒業後の進路として文系学部への進学を考えている場合は、選択することが望ましい。
選択・必修	選択履修		
教科書	大修館書店 古典A 物語選 改訂版		
副教材等	学習課題ノート		

○科目の目標

古典としての古文と漢文、古典に関連する文章を読むことによって、わが国の伝統と文化に対する理解を深め、生涯にわたって古典に親しむ態度を育てる。

○授業計画

	月	単元・教材名	学習内容	配当時間
前 期	4	古典と現代 古文の舞台・度量衡 貴族の一日・一生 季節	○古文の時代的背景を理解する。 ○古文の世界と現代の度量衡を比べ、時代によって変遷するものの価値や変わらないものを確認する。	6
	5	古文編 1、説話 今昔物語	○古文で現された昔話を学習することによって、古文に対する苦手意識を取り去る。 ○自分の知っている内容の物語を古文で味わう。	8
	6	古文編 2、随筆 枕草子 方丈記	○古文の随筆を味わうことで、自分で現代語訳する力を身につけていく。登場人物の行動とその背景にある心情を読み取り、当時の人間の生き方について考える。 ○『枕草子』を読み、作者が描いた宮廷社会の伝統と文化について読み味わい、理解を深める。 ○『方丈記』を読み、人間・社会・自然などについて現代日本の状況と関連させながら考察することで、人間の生き方や無常観に関する理解を深める。	8
	7	漢文の学習	○国語総合で学んだ漢文の基礎を復習する。	6

	8・9	漢文編 1、故事（・逸話） 呂氏春秋 歴代名画記 世説新語	○中国の思想家がまとめた寓話を題材として、故事成語として現代まで伝えられている寓話の意味するところを学ぶ。	8
後 期	10	漢文編 1、（故事）・逸話 韓非子 帰田録	○短い文章に込められた思想を理解する。 ○自分の好きな文章を暗記する。	6
	11	古文編 3、物語 伊勢物語 大和物語	○『伊勢物語』を読み、和歌を味わうとともに、物語の中での和歌の持つ役割について考える。 ○『大和物語』を読んで、さまざまな歌物語を味わう。	8
	12	古文編 6、日記 土佐日記	○『土佐日記』を読んで、主人公の人生を周囲の人々との関わりの中から読み味わうとともに、最初の日記文学と評される『土佐日記』の作品世界に触れ、古典に親しむ態度を養う。	8
	1	漢文編 3、漢詩	○漢詩の規則を理解する。 ○有名な漢詩の表現を、声に出して味わう。	6
	2	漢文編 5、思想	○孔子や門人たちとのやりとりを通して、人物像や性格を読み取るとともに、その思想に触れる。 ○孟子や荀子をとりあげ、思想家の論旨を理解する。	6

○評価方法

- 1 授業内で小テストを実施する。
- 2 小テストの得点は定期考査に加味する。
- 3 評価は、定期テストや小テスト（知識・理解）を中心に、出席状況や授業への取り組み状況（関心・意欲・態度）発言や提言（思考・判断）などを総合的に判断して行う。
- 4 定期考査は前・後期とも中間考査と期末考査をそれぞれ百点満点で行う。
- 5 発表学習については、担当教員の評価のほか、生徒相互による評価も行う。担当教員が実際の評価を決める際の資料として活用する。
- 6 各学習のまとめ段階では、自己評価や相互評価も活用する。
- 7 年間授業時数の1／3以上を欠席すると単位を認定できないことを注意する。